

www.jwing.com
mail@jwing.com



Guam

Fall / Winter 2013

グアム特集 [2013年 秋・冬号]

グアム政府観光局設立50周年記念号



日本のトラベルパートナーの皆様へ





TRAVEL PARTNERS IN JAPAN

Hafa Adai! This year, Guam celebrates 50 years of tourism. For five decades, we've shared our island paradise, our rich history, culture and warm hospitality with Japanese tourists.

Guam has experienced some difficult times with the instability of the global economy, the aftermath of natural disasters on Guam and the region, and unforeseen events. In light of struggles and obstacles, tourists from Japan have continuously made Guam their choice as a premier destination. Guam and Japanese travel agents are indispensable to sustaining Guam as a world-class resort destination.

We are excited for the future of tourism on Guam. We are excited for your success in capturing greater market share from the Japan outbound market. Last year, we saw some of the best visitor arrivals in our island's history. We pushed hard to build capacity and enhance our services. This year, with your continued commitment to excellence, we hope to see more. Thank you for your diligence, and dedication to share Guam with the world.

どうもありがとうございます。


EDDIE BAZA CALVO


RAY TENORIO

Office of the Governor of Guam

Ricardo J. Bordallo Governor's Complex • Adelup, Guam 96910 Tel: (671) 472-8931 • Fax: (671) 477-4826 • governor.guam.gov • calendar.guam.gov

 Eddie Baza Calvo  @eddiebazacalvo  @governorcalvo  governorofguam

ハファ デイ！(チャモロ語で『こんにちは！』)
今年グアムは観光50周年を迎えます。この50年間、楽園グアムは豊かな歴史、文化、そして温かいおもてなしの心で日本人観光客の方々と共に歴史を刻んでまいりました。

これまでグアムは不安定な世界経済、グアムにおける自然災害の余波、また予期できない出来事などにより様々な困難を経験してまいりました。こういった苦境や障害がありながらも、日本からの観光客の皆様は常にグアムを優先的なデスティネーションとして位置づけてくださいました。日本の旅行会社様ならびに、各社のグアム支店様は、グアムをワールドクラス・リゾート・デスティネーションとして支持していただくために不可欠な存在だと考えております。

我々はグアムの今後の観光業に非常に期待を寄せており、日本のアウトバウンドマーケットにおいてグアムのシェアが増大することを望んでいます。昨年は、これまでの歴史の中でも過去最高の旅行者数を記録し、収容能力、サービスといった面を向上させることに邁進いたしました。皆様方からの変わらぬご支援をいただくと共に、今年はこれまで以上のものを期待したいと考えております。皆様のたゆまぬ努力、グアムへの貢献に心から感謝申し上げます。どうもありがとうございます。

米国グアム準州 知事

エディー・バザ・カルボ

米国グアム準州 副知事

レイ・テノリオ

グアム政府観光局 開局50周年に向けて

グアム政府観光局 開局50周年、おめでとうございます。

日本の海外旅行が自由化になったのが1964年のこと。その1年前の1963年に設立されたグアム政府観光局です。そのターゲットが日本マーケットであれば、当時のグアム政府の先見の明には頭が下がります。日本人の海外旅行の進展にグアム政府観光局が果たされた役割は本当に大きなものがあります。

1967年、当時のパンアメリカン航空が直行便を就航、1970年には日本航空の直行便が就航し、1972年、日本の第1次海外ハネムーンブームの中心デスティネーションとなり、当時の右肩上がりの日本の海外旅行を牽引したのがグアムでした。その後も、ユニークで秀逸なTVCM、数々の著名人の起用等、話題性のある広告展開で日本人の海外旅行需要喚起に多大なる貢献をされておられます。

これまでの半世紀、決して短い時間ではありませんので、必ずしも順風満帆であったわけではありません。ここ10年を振り返ってみても、台風や地震などの自然災害、SARSや新型インフルエンザ等の感染症など、その都度、正確な情報発信やプロモーションをもって障害を乗り

越え、日本人に身近なデスティネーションとして、日本の旅行業界とも信頼を深めつつ現在に至っています。

グアムには、日本から最も近い英語圏として、自然豊かで治安も良い特性を生かした修学旅行、新しいコンベンションセンター完成を機に日本全国9箇所からの直行便の利便性を生かした、ゴルフ、マリンスポーツ等のイベントが可能なMICE旅行、さらに価格がリーズナブルな三世代ファミリー旅行等、日本人訪問者数拡大のポテンシャルが十二分にあると考えています。

JATAでは、もっとも身近な海外リゾートとして、今後も日本の海外旅行の中心的なデスティネーションであるグアムに大きな期待を持っております。50周年の歴史と最新のプロモーション手法を持つグアム政府観光局と協力体制を構築して、グアム日本人訪問者数の拡大に努めてまいる所存です。

日本全国をくまなく、精力的にプロモーション展開しているグアム政府観光局の益々のご発展を祈念するとともに、今後の半世紀に向けた新しい歴史を、深い絆で結ばれた日本の旅行業界と一緒に創って行きましょう。



一般社団法人 日本旅行業協会
会長

菊間 潤吾

グアムを最も近い高級リゾートに

潮流

グアムの日本人旅行者数は今年1-7月までで、前年同期比1.5%減の51万4581人と僅かながらマイナスを記録している。第1四半期(1-3月)はプラスだったものの、オフ期の第2四半期(4-6月)がマイナス、7月は9.2%減と前年を下回った。昨年(12.7%増の92万9881人)と6年ぶりに90万人を突破、今年は95万人を目標としているだけに、第3四半期、第4四半期の巻き返しに期待したいところだ。ただ、上半期(1-6月)の日本人出国者数が前年同期比8%減の825万6000人まで落ち込み、とくに、第2四半期が12%減と二桁台のマイナスだったことを考えるとグアムは健闘していると言える。日本人の海外旅行者数が大きく減少している最大の要因は領土問題による中国(香港・マカオ含む)、韓国への旅行手控えにあるが、それらのシフト需要をグアムが取り込めていないことが課題の一つ

に挙げられよう。国内やハワイは中国・韓国からのシフト需要で伸びており、価格帯からみてもプロモーション次第でグアムへのシフト需要を拡大したいところである。ただ、オフ期に航空座席が10%近く減少しており、供給の拡大も今後の課題となる。ところで、「アベノミクス」効果として、実体経済とは乖離しているものの、情緒的に社会全体が「高額志向」にシフトしていることは確かなようだ。それが、国内のちょっと贅沢な旅行やハワイ旅行に表れている。グアムもこれまで常に指摘されてきたことだが、「質の向上」を目指すことが何よりも求められる。グアム政府観光局(GVB)は2020年までに、グアムの訪問者数を現在の130万人から200万人に大きく引き上げる「2020年プラン」を発表している。200万人のうち

日本人旅行者は120万人が数値目標だが、同時に「質の向上」と「滞在日数の拡大」をめざすとしている。質の向上と滞在日数を増やすためには、パッケージの高品質化、ウェディング、MICE、団体旅行を増やさなくてはならない。そのためにも、グアムのブランドイメージを高めることが必須になる。海外旅行のFIT化が定着しつつある今日、旅行会社はウェディングとMICEのインセンティブ・ツアーに注力している。各デスティネーションも企業の業績回復と連動して、インセンティブ・ツアーの誘致にしのぎを削っている。グアムに建設中の大型MICE用のコンベンション施設への期待も高い。昨年は創立100周年のJTBBがグアム3泊4日、4人で100万円、1人25万円の超高級パッケージツアーを発売、完売した。これは記念商品だが、グアムで最高のリゾー

ートライフが過ごせることを立証した。そこまでいなくても、グアムで十分に質の高い、高額商品の需要はある。グアムは今後、日本人はもとより経済成長するアジア人のためのリゾートとして成長していく。それが「2020年プラン」であると考ええる。当然、旅行も多様化し、航空機はレガシーキャリアからLCCまで運航することになる。ホテルも現行の8000室から1万室に拡大することを目標とするということだが、高級ホテルからエコノミーホテルまで広がっていくだろう。そうした中で、グアムのブランドイメージを高めるためにも高級ホテルの誘致をぜひとも望みたい。今年はグアム政府観光局開局50周年という。この50年でグアムは日本に最も近い海外リゾート地となった。次の50年では、日本に最も近い高級海外リゾート地となることを期待したい。(石原)

グアム政府観光局

Guam Visitors Bureau (GVB)

GVB設立50周年を迎え、質の向上で「新しいグアム」を日本人120万人達成へ旅行会社と協力



昨年、日本人訪問者数が再び90万人の大台を突破したグアム。デスティネーション競合が強まる中、引き続きその成長を維持させるには、新しい魅力の発信が必要だ。今年、設立50周年という節目の年を迎えたグアム政府観光局(GVB)は、2020年までにグアムへの全訪問者数を現在の約130万人から、200万人へ引き上げる目標を掲げる。うち日本人は120万人まで増やしていく意向で、目標実現へ向け、「質の向上」を推進する意向だ。GVBの今後の展開について、光森裕二日本代表(写真)に話を伺った。

課題となるオフ期の需要喚起

日本からグアムへの日本人の訪問者数は、直近の数字で今年1～7月に51万4581人を記録、前年同期比1.5%減とわずかながら昨年同期実績を下回った。光森氏は「1～3月は順調に数を伸ばしたが、オフ期となる4～6月が前年同月比で1ケタ台のマイナスとなった。オフ期の需

要喚起が今後の大きな課題となる」と振り返る。要因として挙げられるのは、円安や7月の参議院選挙など。ただ、それ以上に光森氏は「消費者マインドの冷え込み」を理由に挙げる。国内やハワイなど、競合デスティネーションへのシフトが見られたことが原因だ。また航空座席供給がオフ期に減少したことも大きい。しかしながら、光森氏は「4～6月の航空座席供給が前年同期比で8～10%減となった中、訪問者数4～6%減で抑えられたことは、前向きに捉えることができる」と説明する。

ウェディングとMICE／団体を強化

GVBは、グアムへの全訪問者数を200万人までに引き上げる目標を掲げた「2020年プラン」に基づき、「質の向上」と「滞在日数の拡大」を今後目指していく方針だ。光森氏は「具体的なターゲットとして、ウェディングとMICE／団体に力を入れることで、グアムのイメージアップにつなげたい」と意欲を見せる。さらに「観光局設立50年という節目の年を迎え、これからの50年へ向けて『新しいグアム』を位置付ける上で、やはり『質の向上』は欠かせない」と強調する。

ホテル客室1万室へ向け、積極誘致

「2020年プラン」の目標達成には、訪問者を受け入れるホテルの客室増が必要。GVBは、具体的にホテル客室数を現在の

8000室から1万室に拡大させることを計画に盛り込む。来年にはデュシタニ・グアムやロッテホテルのオープンが予定されており、光森氏は「これで約8800室。うち日本人が利用するホテルはおよそ8300～8400室程度となるだろう」と期待を見せる。GVB本局でも、カール・パンゲリナン局長の前職がグアムへの企業誘致などを支援するグアム経済開発機構(GEDA)の要職であったこともあり、「ホテルは、ピーク時には予約が取れないことも多い現状がある。ホテルの誘致など、インフラ整備を盤石にすることが私の役割。GEDAを通じ、企業への働きかけを強めていきたい」(パンゲリナン局長)と、局長自らがホテル誘致に積極的な構えを見せている。

継続したセールス活動の必要性

4月後半より本格的なセールス活動を再開したGVB。光森氏は「常に『グアム、グアム』と訴え続ける必要性を感じた」と振り返り、旅行会社向けのセールス活動の重要性を強調する。具体的にはセミナーやセールスコール、また販売店へのサポートなど、これまで続けてきた取り組みを継続かつ強化していく意向。「営業活動を強化するべく、スタッフの増員も検討している」という。もちろん、その強化するエリアは全国規模。特に「デスティネーション競合の激しい北海道や九州では、旅行会社をこまめに訪問するなど、地道な活動を続けていきたい。ミス・グアムを率いたプロ

モーションも全国規模で継続して実施していく」とのことだ。

東名阪で一般消費者向け広告展開も

一方、GVBは業界向けのアプローチと同時に、一般消費者向けの広告展開も予定する。光森氏は「旅行会社と一般消費者の双方に力を入れることが必要だ」と説明、プロモーションの重要性を強調する。具体的には、9～10月に東名阪の電車内モニターや駅貼り広告で「グアムでしかできない50のこと」と題した広告を展開。オンラインマガジンの「Timeout」(<http://www.timeout.jp>)の協力を受け、例えば「愛の岬で願掛けする」(恋人岬)など、ユニークなフレーズでグアムの魅力を打ち出した内容だ。

羽田便実現が目標、成田線も強化

「2020年プラン」の目標達成へ向け、足となる航空座席供給の拡大も重要な施策となる。光森氏は「まずは羽田便実現へ向けた誘致活動を継続したい」と意欲を見せる。来年の昼間時間帯の国際線運航拡大が予定されている羽田国際空港。羽田⇄グアム線の定期便実現には、日米間政府による航空交渉がまず必要となる。もちろん羽田だけでなく、光森氏は「関東地区におけるグアムへの旅行需要を支える上で、成田線の維持も大変重要。成田線についても同様に強化を図りたい」と述べ、成田の重要性も唱える。

週刊ウイングトラベル「グアム特集 2013秋冬」目次 WING Travel Weekly “Guam Special 2013 Fall/Winter” Contents

メッセージ ● Message	2
潮流／グアム政府観光局 ● Editorial “Choryu” / Guam Visitors Bureau (GVB)	3
ヒルトン・グアム・リゾート&スパ ● Hilton Guam Resort & Spa	4-5
グアム政府観光局設立50周年 歴史年表 ● GVB 50th Anniversary	6
ババコーポレーション ● Baba Corporation	8-9
旅行会社レポート ● Travel Agency Report	10
グアムプラザホテル ● Guam Plaza Hotel	11
修学旅行レポート ● Educational Tourism	12
オーシャンジェットクラブ ● Ocean Jet Club	13
ハイアット リージェンシー グアム ● MICE Market	14
サンドキャッスル・ラスベガス・シアター ● Sand Castle Guam	15-16
「リナラ」グアム ビーチ&カルチャー パーク ● “LINA’LA” Guam Beach & Culture Park	17-18
グアム諸先輩方のメッセージ ● Messages from Experts in Guam	19

ハファデイスタディーツアーレポート ● Hafa Adai Guam Study Tour Report	20
懐かしのあのころ… グアム商品のパンフレットを見る	20
パシフィック アイランド ホリデーズ ● Pacific Island Holidays LLC.	21
PICグアム ● Pacific Islands Club Guam	22-23
グアムでドライブ／エイビスレンタカー ● Driving in Guam, AVIS Rent-a-car	24
グアム プレミア アウトレット ● Guam Premier Outlets (GPO)	25
アルパン・ビーチ・クラブ (ABC) ● Alupang Beach Club (ABC)	26-27
ウェディングレポート ● Wedding Report	28
ワタベウェディング ● Watabe Wedding	29
アウトリガー・グアム・リゾート ● Outrigger Guam Resort	30-31
グアム政府観光局日本事務所メンバーからのメッセージ ● Messages from GVB Japan Staff	32
ホットニュース ● Hot News	32
ユナイテッド航空 ● UNITED	33-34

グアムで人気を集めるヒルトンのリゾート力 幅広いマーケットから高い支持

グアムでトップクラスのサービスとホスピタリティーが受けられると日本人旅行者に人気の高いヒルトン・グアム・リゾート&スパ。ファミリー、OL、シニア、ウェディング、インセンティブなど幅広いマーケットで高い支持を受けている。新たにオープンした直営スパ「アユアラン」も知名度が上がるとともに、そのきめ細かいサービスと豊富なメニューの評価も高まっている。来年からは宿泊タワーの全面リノベーションを開始する予定。さらにリゾート力をアップさせてく計画だ。

常に最高のダイニングを提供

ヒルトン・グアムは、グアムで最初のインターナショナル・ホテルチェーン。メインタワーは1972年5月にオープンした。現在は3つのタワーで合計646室を提供しており、それぞれのタワーで異なる宿泊体験を楽しめるようになっている。

ヒルトン・グアムでは2014年からメインタワーの全面リノベーションに入る予定。その後、徐々に他のタワーの改修も進めていき、さらにリゾートホテルとしての質を高めていく考えだ。

開業以来ダイニングの充実にも力を入れてきた。現在は、主に5つのダイニング・チョイスを提供している。代表格となるレストランが「ロイズ」。高級志向のパシフィック・リム料理は、グアムでも高い評価を受けており、ローカルやヒルトン・グアム以外のホテルに宿泊している観光客も多く訪れる。

「フィッシャーマンズ・コープ」はシーフード・ダイニング。新鮮な魚介を選び、それを料理してもらうというスタイルだ。3食ビュッフェタイプの「アイランダー・テラス」はローカルの人たちにも大人気だという。ロビー階にある「カフェ・チーノ」はペストリーやサンドイッチなど軽食を用意したデリ。早朝出発や深夜到着の宿泊客への利便性を考えて24時間オープンで営業している。さ



ロイズ



フィッシャーマンズ・コープ



アイランダー・テラス



トロピクスBBQ

らに、タモン湾を一望しながら軽食やドリンクが楽しめる「ツリー・バー」は特に欧米人宿泊客に人気が高い。夜にはポリネシアンショーを楽しむことも可能だ。

ファミリー、OL、シニア、ウェディングで訴求力を強化

ヒルトン・グアムのマーケットシェアは現在、日本40%、アメリカ40%、韓国10%強、その他（中国、台湾、ロシア）10%弱。日本の海外旅行市場は今年度上期、急激な円安に少なからず影響を受けたが、ヒルトン・グアムのジェネラル・マネージャー安原誠氏は「4～6月の実績は前年比とほぼ同じに推移した」と説明するとともに、「グアムへの日本人旅行者は増加しており、円安による業績が回復してきた企業によるインセンティブも徐々に回復しつつある」と説明する。下期については、2014年1～3月は例年どおり期待が持てるものの、2013年10～12月が「勝負の時期」だとの見立てだ。

こうしたマーケット動向のもと、ヒルトン・グアムでは主に4つのターゲット向けに訴求力を高めていく。まずファミリー層へのアピールを強化。特に3世代の宿泊客が増えてきていることから（安原氏）、キッズ・プログラムに力を入れていく。ヒルトン・グアムでは、室内に「Kid'sパラダイス」、屋外に滑り台やブランコを設けたプレイランドを用意しているほか、多彩なアクティビティー・プログラムも提供するなど、子ども連れのファミリーに喜ばれるサービスを充実させている。

OL層を中心とした女性マーケット向けには、直営スパ「アユアラン」、ロイズでの豪華ディナー、ポリネシアンショーなどをアピールするとともに、「ツリー・バー」での女性向けドリンクも充実させていく考えだ。また、シニア夫婦向けには、「タモン地区の中心から離れており、静かな環境が良い」という声が多いことから、ヒルトン・グアム敷地内での過ごし方を提案していく。そのひとつがタシ・クラブから海岸のチャペルまで続く遊歩



ジェネラル・マネージャー
安原誠氏



アクア・ステラ・チャペル



セント・プロバス・ホーリー・チャペル

道での朝夕の散歩。将来的には、遊歩道沿いにグアムの草木などを植林し、グアムらしい環境を整えていく計画だ。

このほか、ウェディング・マーケットも引き続き強化していく。アールイズ・ウェディングの「アクア・ステラ・チャペル」とワタベ・ウェディングの「セント・プロバス・ホーリー・チャペル」をアピールしていくほか、恋人岬をバックにした写真撮影など挙式以外の演出にもこだわっていく。

直営スパ「アユアラン」、認知度アップに合わせて人気も上昇

昨年オープンしたヒルトン・グアム直営のスパ「アユアラン」も引き続き評判を集めている。13名のスタッフのうちセラピストも含め4名が日本人。利用者からは「言葉の面からも安心してトリートメントが受けられる」という声が多く聞かれているという。オープン以来、認知度も確実に上がっており、現在のところ、利用者の6割がヒルトン・グアム宿泊者、4割が他のホテルの宿泊者となっている。

コンセプトは、自然の力を使って人間の本来持っている五感を目覚めさせ、身体のなかからキレイにするというもの。



直営スパ「アユアラン」

「こころ」と「からだ」の調和を大切にしている。トリートメントルームは5部屋。そのうち3部屋がダブルとなっており、カップルでの利用も可能だ。

ボディコースで人気を集めているのが「バリニーズ・マッサージ」。指や手の平を使って、経絡、経穴、筋肉にアプローチをするマッサージで、疲労回復や緊張をほぐす効果がある。また、頭だけでなく、首、肩、デコルテ、腕など頭部まわりをケアするトータルトリートメントのヘッド・スパも人気だという。

フェイシャルコースでは、場所がグアムだということもあり、たっぷりビタミンCを補給し、日焼け後の疲れた肌を回復させる「ビタミン・フェイシャル」を受ける利用者が多い。また、ハーブテントも好評だ。一人用のテントの中に座り、イスの下からハーブの有効成分を身体に取り入れるもの。グアム初登場のトリートメントとして注目度も高い。

このほか、アユアランでは、ラグジュアリーなパッケージ・メニューや挙式前のブライダルメニューも用意し、さまざまなニーズに応えている。今後もリラックスできる環境づくりを進め、リゾート感を出したサービスを提供していきたい考えだ。

エンターテイメントでグアムをもっと楽しく

ヒルトン・グアムの敷地では昨年、ジップ・グアムのオペレーションで「ジップライン」が新しいアトラクションとして加わった。体をハーネスで固定し、空中に張られたワイヤーを、ターザンのように滑り降りるというソフト・アドベンチャー。全6コースで、空中からグアムらしい風景が楽しめるという評判が高まっている。



ジップライン

ヒルトン・グアムでは、遊歩道の整備など敷地内でのアトラクションを充実させていくほか、ヒルトン・グアム以外のエンターテイメントでも宿泊者に最新情報を積極的に紹介していく考えだ。

「グアムの最大の魅力は、日本からたった3時間で来られるところ。時差も1時間しかない」と安原氏。今後も、最も気軽にアメリカを体験できるデスティネーションとして、グアムを継続的にアピールしていく必要性を強調した。


HILTON
HHONORS


日常を忘れさせて くれる場所へ

タモン湾を見渡しながらか、心地よくくつろげる
理想の空間 - ヒルトングアム・リゾート&スパ。
ホスピタリティあふれるこの島のあたたかさに、
身をゆだねてみませんか。

お問い合わせ・ご予約は hilton.co.jp まで



Hilton
GUAM RESORT & SPA

©2013 Hilton Worldwide

あなたの旅先にヒルトン。そこは、世界との架け橋です。



SPA ayualam

スパアユアラン

心と身体を芯からほぐす

「草木」「石」「水」などの自然の恵みを用いて、こころから、体から、
五感から体のエネルギーバランスを整える癒しの空間です。

スパアユアランは、「エネルギー」、「バランス」、「自然」をキーワードに、
身体のかつろぎと回復に特化したスパ体験を提供いたします。

日本で培った高い技術力ときめ細やかな心配りでリゾートスパならではの極上
の癒し時間をお届けします。

バリニーズ・マッサージ 60分/90分

指や手の平を用いて、強めの圧で経絡、経穴、筋肉にアプローチするバリ式マッ
サージ。硬くなった凝りを解し、疲労回復に最適です。

ラグジュアリー 150分コース

ハーブテント+ バリニーズボディマッサージ60分 + フェイシャル30分 + ヘッドスパ30分

屋内トリートメントルーム5部屋

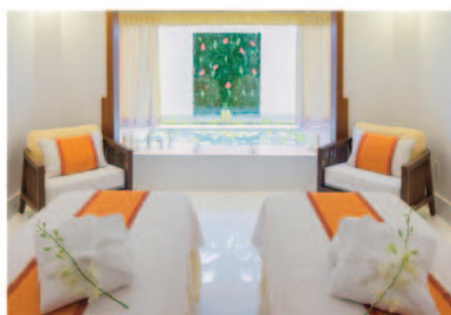
営業時間/年中無休 10:00~21:00

予約なしだと受けられない場合もございますので、
予め予約することをお薦めします。

ご予約・お問い合わせ 1-671-646-5378



Hilton
GUAM RESORT & SPA



グアム政府観光局設立50周年の歴史

グアム政府観光局設立50周年

日本とグアムの観光の歴史を振り返る

1963年にグアム政府観光局の前身の組織となる「グアム ツーリスト コミッション」が発足してから、今年で50周年を迎える。その後1967年5月1日、パンナム（PA）機が109人の日本人観光客を乗せて初めてグアムを訪れ、グアムと日本の観光の交流がスタートした。当時は、首都アガニア地区にホテルが1つ存在するのみだったという。ここでは、グアム観光50年の歴史を振り返る。

1963年

グアム政府観光局の前身の組織となる「グアム ツーリスト コミッション」発足。

1967年

5月1日、パンナムの一番機PA819便がグアムへ飛び立った。運賃はエコノミークラス往復6万8600円、23日間周遊運賃で5万1500円だった。大卒初任給2万円の時代である。

- PA東京⇄グアム線就航、乗客109名(5/1)
- PAホリデー・ツアー、グアム商品発売(9月)
- コンチネンタル／エア・マイクロネシア(CO)設立(11月)



1968年

- 11月14日には1000組目のカップルが来島した。
- 東急航空、グアムとサイパンのホールセール開始、グアムへのハネムーン時代を築く(3月)
- 藤田観光、フジタ・タモンビーチホテル開業(12/15)
- PA東京⇄グアム線、週4便に増便(12/2)



1969年

- 1969年は、一躍グアムがブームになった年で、PAのグアムキャンペーンをはじめ、繊維メーカーのファッション撮影やアイドル・グラビアなど、一般紙や雑誌が大きく影響した。マーケットは、20歳前後の学生、OL、そしてハネムーンナーがほとんど。
- CO沖縄⇄グアム線、週2便に増便(1/7)
 - PA東京⇄グアム線、デیلیーに。東京⇄大阪⇄グアム線、週3便で開設(6/1)
 - ダイヤモンドツアー、グアムのホールセール開始(7月)
 - グアム東急ホテル、オープン(11/10)



1970年

- 日本航空(JL)がグアム線を飛ぶことになったのが10月1日。火・木・土の週3便、11:30東京発、15:50グアム着のデイフライトが注目を集めた。これに伴い、各社のグアム商品もかなりのボリュームとなり、ルック、ジャルパック、ジェットツアー、ダイヤモンドツアーがしのぎを削ることになる。前年にも増してハネムーンの海外旅行ブームは進み、1月26日の大安、PAの1フライトに54組の新婚さんという「最多ハネムーン客輸送」の記録が樹立。乗客119人のうち、実に108人がハネムーンナーであった。この目覚しいグアム観光の伸びに呼応して、グアム政府は新たにグアム観光局(GVB=Guam Visitors Bureau)を設置し、急増する来島者へのサービスを始めた。初代局長はフランク・F・ブラス氏。
- ジャルパック、グアムのホールセール開始(7月)
 - グアム観光局(GVB)発足(7/1)
 - JLグアム線就航(10/1)
 - ニッポンレンタカーグアム、開業(10月)



1970年代当時のタモン湾

1971年

グアムへのハネムーン熱はとどまるところを知らず、いつも満席、1年先まで予約はいっぱいという状況。9月にはグアム政府が「パラダイス・プラン」と呼ばれる観光施設の整備5ヵ年計画を発表。恋人岬の施設改良工事や公園／海岸の総合的整備、アガナ・タムニン湾の開発など、総計41のプロジェクトからなり、1975年に完成した。

- グアム第一ホテル、グランドオープン(3/1)
- DFSグアム開業(3月)
- JL週6便に増便(4/1)
- JL大阪線開設(9/1)
- GVB「パラダイス・プラン」発表(9月)
- PA、東京⇄グアム線にジャンボ機(B747型機)就航(10/31)



1972年

- 2月15日、グアム・ヒルトンがオープン。11月4日には、グアム・ホテルオークラがオープン。
- 元日本兵横井正一さん発見(1/24)
 - グアム・ヒルトン、オープン(2/15)
 - バンクオブグアム設立(3/13)
 - マツハ、グアムのホールセール開始(3月)
 - JL、グアム線にジャンボ機導入、デیلیー運航開始(4/1)
 - はとバス旅行、グアムのホールセール開始(5月)
 - 阪急、グアムのホールセール開始(5月)
 - グアム日本人会発足(8/17)
 - グアムホテル&レストラン協会設立(8/28)
 - グアム・シーサイド・ビラ、オープン(8月)
 - フジタ・タモンビーチホテル、150室増設(10月)



1973年

- PAも朝便にスケジュールを変更し、ジャンボ機を投入、計週10便となった。
- 団体査証申請手続き改正(1月、10月)
 - 横井正一さん、ハネムーンでグアム来島(3/13)
 - カントリークラブオブザパシフィック(SHOBU GUAM)開業(3月)
 - PAグアム線20万人目の旅客達成(4月)
 - JTBインターナショナル、グアム事務所開設(4月)
 - グアム補習授業校開校(5/20)
 - 神原汽船、グアム、ラバウルへ「トロピカル・レインボー」号定期航海開始(7/1)
 - 日本旅行マイクロネシア設立(8/1)
 - ホテル・グアム・カクエイ、オープン(11月)
 - ホテルジョイナス、ショッピングセンター開業(12月)



1974年

- 6月28日に日興開発のグアム・リーフ・ホテル(300室)がオープン。一方で世界的なオイルショックにより、日本市場は不況への兆しを見せ、1、3、7月の3回にわたって日本発航空運賃が値上げ。ツアー料金にも影響し、翌年からのグアムへの客足は落ちることになる。
- ホテル(W.T.C)グアム、オープン(5/26)
 - ITCホテル(Guam International Trade Center Inc)開業(5/26)
 - グアム行き団体用ビザ廃止(7/15)
 - グアム・ヒルトン、オープン(10月)

1975年

- オイルショックと不況の波を受け、一時の飛ぶ鳥を落とす勢いが影を潜めた。一方、GVBの活動は活発となり、ボダリオ知事とロバート・ジョーンズGVB理事長は4月15日、GVB日本事務所の開設を表明。また外務省は7月1日、グアムに日本総領事館を開設した。
- ジェットツアー・グアム・インク設立(1月)
 - ボダリオ知事、ロバート・ジョーンズGVB理事長来日、日本事務所開設を表明(4/15)
 - グアムに日本総領事館開設(7/1)
 - 在ハガッニャ日本国総領事館開設(1994年4月1日アガナより名称変更、7月)

1976年

- かねてから要望の強かったグアム観光局日本事務所が1月23日、東京／有楽町に開設された。
- GVB日本事務所オープン(1/23)
 - 台風「パメラ」直撃で被害甚大(5/21)
 - ボダリオ知事、観光客受け入れ再開宣言(6/1)

1977年

- コンチネンタル航空(CO、現ユナイテッド航空)の東京⇄サイパン⇄グアム線就航。10月1日より、グアムとサイパンを核としたマイクロネシア・ツーリズムが幕開けする。PAがグアムをデビューさせ、今度はCOがマイクロネシア全体をデビューさせるという、PAからCOへ主役の座がバトンタッチされた感がある。
- ドッグレース登場(2/18)
 - 長崎県対馬と姉妹縁組(2/21)
 - PAグアム就航10周年(5/1)
 - CO東京⇄サイパン⇄グアム線開設(10/1)
 - 日本の運転免許でドライブOKに(10/31)

1978年

- B&G財団「第一回B&G少年の船」(5月)
- 成田空港開港(5/20)
- PA大阪⇄グアム廃止(10月)、JLが引き継ぐ(11月)

1979年

- 4年間の低迷脱し、リゾートブームへ。
- 上半期の日本人客は前年比22%の9万2250人で復調
 - エア・ナウルが鹿児島⇄グアム線週2便で開設

1980年

- 1980年の旅行業界を取り巻く経済状況は、1973年の第一次オイルショック以来の最悪の状態だった。世界的インフレによる現地地上費の増大、流動的な円安傾向、そして燃油価格の高騰による航空運賃の値上げが旅行商品の買い控えにつながり、海外旅行需要も冷え込み、初のマイナス成長となった。
- 兼松JATA会長がグアム商工会議所総会で講演(4/29)
 - PICオープン(10/1)
 - CO、ノースウエスト航空(NW、現デルタ航空)、東京⇄グアム線への参入申請(12月)

1981年

- グアム・マラソンに日本人初参加(3/28)
- GVB、ポートピア'81で「グアム・デイ」開催(4/25～29)
- NW、東京⇄グアム線週2便で開設(4/30)
- グアム政府、タモンビーチ清掃作戦開始(9月)

1982年

- グアム国際空港に新ターミナルが落成した。1978年から3年がかりで建設が行われていたもの。建設費用は約110億円で、以後20年間の需要増加に対応できる施設として建設された。4月6日にはグアムに初の定期路線バスが運行を開始。「シャトル・トランジットIBUS(イバス)」と呼ばれ、旅行者を対象にタモン湾のホテル街とアガニアのショッピング街を結んだ。12月にはココス・アイランド・リゾートがオープンした。
- グアム国際空港新ターミナル、オープン(1/19)
 - 読売巨人軍のグアムキャンプ(1992年まで)
 - NW東京⇄グアム線、週4便増便(7/12)
 - 全日空、チャーター便就航(11月)

1983年

- ココス・アイランド・リゾート・ホテル、グランドオープン(1/22)
- 全日空ハローツアー(株)設立(2/23)
- ハローツアー、83年上期グアムに新規参入
- CO、名古屋⇄サイパン⇄グアム線デیلیー開設(4/1)
- 阪急グアムツアーズインク設立(4/4)
- 日米航空交渉開催、COの東京⇄グアム線週4便就航決定(12/12、13)
- グアム・プラザ・ホテルがオープン(12月)

1984年

- CO、東京⇄グアム便を週4便のデイフライトで就航(3/18)
- CO、上半期26%増の9万5960人の輸送実績
- グアム・ヒルトン新館オープン(7/18)
- 耀華号利用の「トロピカル・アイランド・クルーズ」発売(9/3)
- 東急東北営業本部、サイパン・グアム「少年の船」発売(10月)

1985年

- 中曽根首相、安倍外務大臣ご一行、グアムに立ち寄る(1/13)
- NW、日本⇄グアム間の増便申請(1月)
- 全日空、グアム線を申請(7/25)
- R&Cツアーズ発足、グアム手配開始(10/28)
- ヒットツアーズグアム設立(10/29)

- ヒットツアーズ創設(12月)
- JTB「バシフィック・ミクロネシア・ツアーズ」設立(12月)

1986年

- 76年ぶりハレー彗星フィーバー、グアムは絶好の観測地
- ハローツアー、全日空利用のホールセール開始(2/10)
- 全日空初の国際定期便(東京⇔グアム線)、週4便就航(3/3)
- 全日空、タモン⇔アガニア間にシャトルバス・サービス開始(4/3)
- JL、大阪⇔グアム便で往復2便サイパン寄港開始(4/3)
- ジョーンズ・ビーチリゾート、オープン(6/7)
- ウィンドワードヒルズカントリークラブ(旧グアム高山ゴルフクラブ)設立(7月)
- グアム第一ホテル新館オーシャンビュータワー、オープン(8/1)
- 「アメリカ横断ウルトラクイズ」がグアムPIC前のビーチで開催(9/7)
- アルバン・ビーチ・クラブ(ABC)オープン

1987年

- 相鉄トロピカーナホテル開業(4/1)
- グアム観光20周年記念式典、グアムで開催(5月)
- CO、福岡⇔サイパン⇔グアム線就航(6/1)
- バシフィックスターホテル、オープン(6/18)
- ホテルサンルート開業(12月)

1988年

- 初穂C.C.営業開始(3/1)
- グアム日産自動車(株)開業(3/9)
- CO、沖縄⇔グアム⇔サイパン線開設(4/22)
- マイクロネシアモール開業(10/10)
- 米国の査証(B-1、B-2)免除(10/15)
- アトランティス・サブマリン、営業開始(10月)

1989年

- グアム日本人学校開校式(4/15)
- JL、名古屋⇔グアム線開設(11/4)

1990年

- ピア・リゾート開業(6月)
- CO、札幌⇔グアム⇔サイパン線開設(7/2)
- CO、仙台⇔グアム⇔サイパン線開設(7/9)
- (株)ジェーシービー(インターナショナルマイクロネシア)設立(10/19)
- COが札幌線と仙台線を週4便に増便(10月)
- ホリデープラザホテル開業(11/19)
- サンドキャッスル、オープン(12月)

1991年

- 湾岸戦争勃発(1月)
- パレスホテル・グアム開業(4/20)
- 知事ら10人のミッションが日本を訪問。安全なグアムをアピール(4月)
- パレスホテル・グアム(403室)オープン(4月)
- COが仙台線を週6便に増便(4月)
- NW、名古屋⇔グアム⇔サイパン線開設(8/1)
- CO、福岡⇔グアム⇔サイパン線開設(8/5)
- P.I.C.グアムの「デラックス・タワー」(283室)オープンとウォーターパーク、3倍の広さでリニューアル(10月)
- 千葉県柏市長 鈴木眞氏とグアム準州知事ジョセフ・F・アダ氏(Joseph F. Ada)が柏／グアム友好都市提携を結ぶ。(11/30)
- ホテルニッコークグアム(500室)開業(12/21)
- タモンベイキャピタルホテル開業(12月)

1992年

- マンギラオG.C.オープン(4/1)
- コロンプスアメリカ新大陸発見500年、復元船サンタマリア号アプラ港に入港(3/29)
- マンギラオゴルフクラブ(ティエイチコーポレーション)開業(4/20)
- オンワードアガニヤビーチホテル(285室オンワードビーチリゾート)開業(5/23)
- ピアマリン開業(7/27)
- 初穂グリーンパークホテル(62室)開業(8月)
- コンチネンタル・ミクロネシア航空(CS)、コンチネンタル航空(CO)の子会社として独立(11月)
- アガナ日本人学校文部省認定校に認定される(12/18)

1993年

- アンダーソン空軍基地のビーチ開放で、スターサンド・プライベート・ビーチ・クラブ誕生(1月)
- ココス・アイランド・リゾート開業(4/24)
- タロフォォゴルフリゾート開業(4月)
- アルバンビーチタワー開業(6/18)
- グアム・ヒルトンの新館「マガラヒタワー」(237室)オープン(6月)
- ハイアット・リージェンシー・グアム(455室)開業(10/1)
- GVBがACC全日本CMフェスティバルで大賞を受賞(11月)

1994年

- グアムインターナショナルカントリークラブ設立(3/1)
- GVBが大阪オフィス開設(6月)
- グアム島終戦50周年日米合同慰霊祭(7/18)
- チャモロビレッジ完成(総額1,000万ドル、7/21)
- スーパーKマート開業(広さ168,000平方フィート、8/6)
- 関西国際空港(関空)開港(9/4)
- DFSグアムがタモン地区(サンビトレスロード)に本店オープン(10月)
- グアムへの全渡航者数が100万人を突破(12/7)
- 全日空、大阪⇔グアム線就航(12/21)
- ユナイテッド航空(UA)、大阪⇔グアム⇔サイパン線開設(12月)

1995年

- ラデラタワーオープン(1月)
- GVBが神戸救済基金設立(2月)
- アジアナ航空、ソウル⇔グアム線開設(4/1)
- GVBが第48回広告電通賞のサービス文化部門賞を受賞(6月)

1996年

- パークホテル開業(3月)
- ウェスティンリゾートグアム、ソフトオープン(12/20)

1997年

- グアムグランドホテル(100室)オープン(3月)
- GVBがグアム大夏祭開催(7～8月)
- H.I.S.グアムインク開業(10/17)
- グアム・ファクトリー・アウトレット・バイ・ワイケレ(現GPO)、オープン(10月)
- グアム日産自動車(株)設立(11/18)

1998年

- GVBがスプリング仙人キャンペーン実施(2～4月)
- アルテグアムリゾートインク開業(5/27)
- CSが新潟線、岡山線を週2便で運航開始(7月)
- GVBが第2回大夏祭開催(7～9月)
- シャーウッド・リゾート・グアム(335室)オープン(8月)
- クリントン米大統領来島、知事事務所の広場で式典開催(11/23)
- サンタフェ・オン・ザ・ベイ(112室)オープン(11月)
- GVBがロマンスグアムキャンペーン開始(11月～)
- GVBがグアムラブアイランド宣言開始(12月～)

1999年

- 読売巨人軍投手陣キャンプ(長嶋茂雄監督、1/25)
- アウトリガー・グアム・リゾート(600室)開業(7月)
- プレジャーアイランド、オープン(7月)
- GVBが第3回グアム大夏祭開催(7～9月)
- ロイヤル・オーキッド・グアム(207室)オープン(9月)
- P.I.C.グアムの新館「ロイヤルタワー」(292室)オープン(11月)
- グアム第一ホテルのガーデンヴィラ(98ユニット)オープン(11月)

2000年

- GVBが楽しさエンドレス グアムキャンペーン実施(1～6月)
- グアム準州50周年(8/1)

2001年

- 米国同時多発テロを受け、グアム国際空港閉鎖(9/12)
- 日本8都市でグアムリカバリーキャンペーン(10月)
- 柏／グアム友好都市提携10周年(11月)

2002年

- 日動火災海上保険(株)設立(2/1)
- ジャルパックインターナショナルミクロネシアインク設立(3/1)
- アマンテスチャペル オープン(4月)
- セント・プロバス・ホーリー・チャペルオープン(4月)
- グアム政府観光局、600万ドルの予算で、ファミリー向けキャンペーン「ハッピー・ファミリー・キャンペーン」ならびにウェディング・キャンペーン(5万円の商品券プレゼント)、グループキャンペーン(1人につき\$20商品券をプレゼント)を実施(7月)
- グアム政府観光局「ゼクシイ ブライダルフェスタ2002」にて、特設グアムホールを設置(7月)
- ガーデンビラホテルオープン(10月)
- 大型台風「ボンソナ」上陸。観光客を含め、死者、ケガ人ゼロ。その後2週間以内に通常パッケージツアーの受け入れ開始(12月)

2003年

- SARS騒動が勃発するも、グアムでは感染例のないことを確認(5月)
- 新コマーシャル「さあ南へ。日常から 3時間 GUAM」発表(12月)
- 読売巨人軍グアムキャンプ(12月)
- グアム美化開発計画実施。電線と下水道を地下に埋め

- 込み、ホテルロードの両側にヤシの木を新たに植え、景観の良い緑豊かな遊歩道を作る。(12月)

2004年

- BSE騒動が発生するも、米農務省ならびにグアム公衆衛生局の調査で、該当輸入牛肉はグアムに存在しないことが明らかに。(1月)
- グアム政府観光局、札幌観光協会との姉妹協会提携10周年(1月)
- ココバームガーデンビーチオープン(3月)
- 第1回グアム・インターナショナル・テニス・オープン実施(4月)
- クリスタルチャペル～風の教会～オープン(11月)

2005年

- 中部国際空港(セントレア)開港(2/17)
- セント・マリア・アレーナ・チャペル、オープン(4月)
- CS広島⇔グアム線、週2便で就航(4/7)
- CS広島⇔グアム線、週4便に増便(7/7)
- 「タモン・ベイ・シーライフ・パーク」発表(10/13)
- 自然保護地区であるタモン湾を「タモン・ベイ・シーライフ・パーク」と名付け、そこに生息する熱帯魚を紹介するパネルを設置、一般公開(これは既存のビーチ付近に、案内パネルを設置するもので、特に入場料などはかからない)
- グアム政府観光局とJCB、観光振興を目的としたグアムプロモーション施策を開始(12/16)

2006年

- 喫煙規制に関する「ナターシャ保護法」の実施が決定(6月)
- グアム政府観光局主催、第1回グアム ココ・ロードレース 実施(参加者390名)(10月)
- 「ブルーアステール」オープン(12月)
- ヒルトングアムリゾート&スパにタシクラブオープン(4月)
- フィエスタ・リゾート・グアムオープン(3月)
- セントラグーナチャペルオープン(9月)

2007年

- 日本－グアム観光交流40周年(グアムへの直行定期便開設40周年)
- 熟年・シニア層拡大のため「ありがとう」40周年キャンペーン実施
- セカンドハネムーン市場の開拓
- おやじバンド in GUAM開催
- シェラトンラグーナグアムリゾートオープン(4月)
- コンチネンタル航空日本就航30周年(東京⇔サイパン⇔グアム線)
- 日本人観光客来島者累計2000万人突破

2008年

- グアムアウロラリゾートヴィラ&スパ誕生(4月)
- ベットキャリアーグアム運営開始(8月)
- 大韓航空、大阪⇔グアム線就航(12月)
- ルビーチューズデイ、フーターズ、チリズ、マルガリータなど、日本未上陸のレストランが登場

2009年

- ジュエルバイザシーがオープン(4月)
- ESTA(電子渡航認証システム)スタート
- ココス島でココバードの一般公開開始

2010年

- 「第一回グアムチャモロダンスアカデミー」開催(1月)
- ココバードがグアム島のイメージキャラクターに
- グアムアイランドフィエスタツアー開始
- ジェットショップ・ホープ、オープン(8月)
- 日本航空グアム就航40周年(東京⇔グアム線)

2011年

- 「リナラ」グアムビーチ&カルチャーパークオープン(6月)
- 「ラッテオブフリーダム」グランドオープン
- 日本人医師による「旅行者クリニック」オープン
- デルタ航空就航30周年(旧ノースウエスト航空／東京⇔グアム線)
- BIG・サンセット・バーベキュー・クルーズ開始

2012年

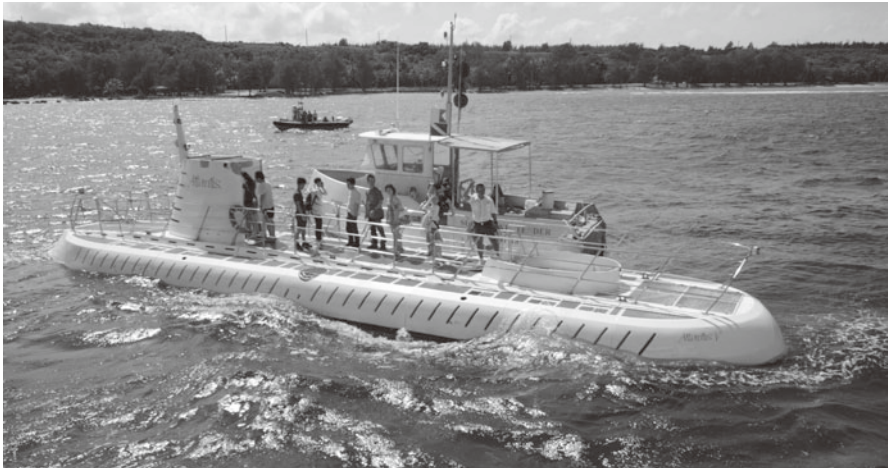
- スパ・アユアランオープン(11月)
- 修学旅行年間100校突破



グアムの大自然を楽しみながら体験 団体旅行、修学旅行で高い満足度の理由は？

日系企業としてグアムで40年以上にわたり、質の高いサービスときめ細かな対応を心がけてきたババコーポレーション。グアムの大自然を体験できるアトラクション「アトランティスサブマリン」と「ココパームガーデンビーチ」は業界からの信頼度も高く、社員旅行やインセンティブをはじめとする企業の団体旅行、さらに修学旅行において高い満足度を約束してくれる。

アトランティスサブマリン 本物の潜水艦でグアムの海中を楽しく散策



グアムの海の生態系を学習 修学旅行の素材に最適

グアムの海の生態系を楽しく体験できるアトランティスサブマリンは、高い学習効果が期待でき、修学旅行に最適な素材。潜水艦の定員は最大48名で、まるとチャーターも可能、増便のアレンジにも対応する。



潜水場所のアブラ湾には、グアムに生息する約400種のサンゴと800種以上の魚の多くを観察することができる。またサメやウ

ミガメといった大型海洋生物に遭遇することもしばしば。潜水艦が潜る水深40メートルは、一般のスキューバダイビングの限界深度とほぼ同じ。大きな機材をわざわざ担ぐことなく、海中探検が誰でも気軽に楽しめる。

企業の団体旅行にも 多彩なアレンジを提供

各種団体には、送迎用大型バス(定員53名)の手配や、潜水艦発着ポイントと結ぶシャトルボート(片道15分程度)上でのスピーチができる他、オプション(有料)となるが、企業名等のバナーをシャトルボートの発着所に掲出するなどのサプライズ演出も可能だ。

アトランティスサブマリンの6つの特徴

- 1 本物の潜水艦に乗れる**
日本ではなかなか味わえない貴重な体験をグアムで!
- 2 身長92センチ以上であれば、誰でも参加できる**
年齢制限がないので、子供からシニアまで楽しめる
- 3 約45メートルの海底体験が、普段着のままでOK**
空調完備の艦内で、快適な海中散歩を楽しめる
- 4 よほどの悪天候でない限り、雨の日も催行**
雨が降っても海中はクリアで、環境も安定
- 5 希望の便を選ぶので、予定が組みやすい**
ツアーは通常1日6便運航で、ホテル送迎付き
- 6 厳しい運航管理と整備基準により高い安全性**
1988年のスタート以来、無事故を誇る



海洋自然保護活動に協力

アトランティスサブマリンは、グアム大学が米国連邦政府から助成金を受けて行う海洋自然保護活動の正式協賛企業に認定されている。実際に調査で潜水艦が利用されるケースもあり、利用客への海洋環境保全の意識向上、ウミガメや魚の生息状況把握への協力、ギフトショップ内での活動募金など、海洋自然保護活動に関するさまざまな取り組みを行っている。

ココパームガーデンビーチ 大自然に恵まれたプライベートビーチだからこそ思い出に残る団体旅行を実現

「団体旅行の目的」を 達成できる9つの魅力

1 美しい自然

抜群の透明度を誇る海は、多くの人気アイドルの撮影場所にも選ばれるなど注目を集める。白砂のビーチを舞台に、イベントや自然散策、植樹など、さまざまな企画を

2 選びやすいスケジュール

デイトアーからサンセットディナーまで、多彩なコースを用意。グアム滞在中の予定に合わせて計画できる

3 多彩なアクティビティー

シュノーケリングやカヤックはもちろん、ジャングルの中の洞窟ツアー、ビーチスパでのマッサージ、四輪バギー(ATV)など、グアム島でも数少ないアクティビティも

4 豊富なチームビルディング

綱引きやフラッグレース、ビーチバレー、大脱走リレーなど、団体向けにはビーチスポーツ大会がおすすめ。他にも、キャンプファイヤー、洞窟探索ツアーなど、組み立て自由

5 貸切もOK

団体利用は20名～最大350名まで。おすすめは午後発のビーチ&サンセットディナーのツアーで100名以上で完全貸切可能。また午前中に出発する昼食付きコースも人気で、こちらは最大50名だが、50名以上で利用する場合は要相談

6 専用バス

35名以上の参加で、専用バスによる送迎を提供

7 安全

ライフジャケット完備、AED常備に加え、ライフセーバー、ビーチスタッフをはじめ、スタッフ全員が救護トレーニングを受講するなど、安全対策は万全

8 清潔で快適

水道、電気の供給がない大自然の中でも、水洗トイレや温水シャワー、エアコンの効いた部屋など、快適に過ごすことができる

9 スタッフ全員がサポート

心から楽しいひとときが過ごせるように、スタッフ全員がサポート。高い満足度を約束



修学旅行、企業団体にも 高い学習効果

手つかずの自然を活かした豊富な自然学習プログラムは、修学旅行におすすめ。ヤシの木やココナッツの利用法を学んだり、自然遊歩道を歩きながら熱帯植物の観察やグアムの地質を探るなど、学習素材は豊富だ。

敷地内で発見された土器の破片や鉄(やじり)から約1000年前のチャモロ人の生活の様子を学んだり、自然環境と共存するココパームガーデンビーチの開発経緯についてレクチャーを受けるなど、教

育旅行のみならず、企業団体においても高い学習効果が期待できる。また記念植樹など、社会貢献活動の一環として利用するケースも増えている。

プライベート感を高める 「カバナ」も

グアムの大自然の中でプライベート感を高めるには「カバナ」の利用がおすすめ。カバナ飲み物セットには、クーラーボックスに入った飲物4本とスナック、おしぼりが付く。小グループや三世代ファミリーなど、よりリラックスした気分でも体験できる。

ニッポンレンタカーグアム／バーガーキング

レンタカーとのセット利用がお得 各種キャンペーンも展開

日本でもお馴染みの「バーガーキング」や「ニッポンレンタカーグアム」もババコーポレーションによる運営。レンタカーと「アトランティスサブマリン」または「ココパームガーデンビーチ」のセット割引や、レンタカーとバーガーキングを組み合わせた「らんらんキャンペーン」など、お得なプランにも注目したい。「らんらんキャンペーン」は、エコノ

ミークラス車を対象に、各種特典付きの割引料金を設定。特典は、レンタル期間によって、バーガーキングのクーポン券やTシャツ、バッグのプレゼントなどが付く。

ニッポンレンタカーで人気が高いのは、最新型ムスタングのオープンカー。グアムの青空のもと、開放的なドライブが楽しめる。またバーガーキングは、修学



旅行のケータリングとして利用できる他、実際の注文のやり取りが生の英語を使える機会として語学教育にも活かせることから、注目されている。

MICE関連のお問い合わせは

ババコーポレーション 栗田
Tel: (671)649-5050 E-mail: awata@babacorp.net
団体旅行など、MICE関連の問い合わせは上記連絡先まで。現場ですぐに対応できる態勢を整える。

旅行会社専用サイトで最新情報を

ババコーポレーションでは、日本の旅行業界向けに専用ウェブサイトを開設している。アクセス方法は、各ウェブサイト (<http://www.atlantis-guam.com> または <http://www.cocopalm-guam.com>) の右下にある「業界のみなさまへ」をクリック、ユーザー名「touragent」とパスワード「guam」を入力するだけ。専用ウェブサイトでは、最新の料金表をはじめとする各種資料のほか、FAQや画像のダウンロードが可能だ。



DISCOVER THE UNDERSEA BEAUTY OF GUAM IN A REAL SUBMARINE

アトランティスサブマリン

本物の潜水艦で美しい海底へ...

- もうひとつのグアム、本物の潜水艦で海底探検
- 推定18000年もかけて成長した神秘のサンゴ礁へ
- そこには自然のままの魚達の暮らし
- 気圧の心配もないエアコン完備の艦内
- お子様からお年寄りまで安心してお楽しみいただけます
- 沖の潜水艦まではシャトルボートで素敵なクルージング
- 水に濡れることなく普段着のまま参加できます
- ホテル送迎バスで海辺をドライブ
- 雨でもOK

Atlantis
SUBMARINES
GUAM, USA
www.atlantis-guam.com

料金: 大人\$84 子供\$42 (身長92cm以上11才以下)
所要時間: 約3時間30分 (潜水時間: 約35分)



<エコツアー宣言>

アトランティスサブマリン・グアムとココパームガーデンビーチでは、グアムの大切な自然を守るため、グアム大学、グアム政府と共同で生態系保護活動に取り組んでおります。

25%引きで楽しめる ★★★★おトクなセット★★★★

アトランティスサブマリン+ココパームガーデンビーチ
大人\$126 [\$42もおトク]・子供*\$65 [\$23もおトク]

*6~11才/身長92cm以上 *5才以下/身長92cm以上\$42
※他のキャンペーン料金との併用はできません。

COCO PALM
GARDEN BEACH
GUAM, U.S.A.
www.cocopalm-guam.com

ココパームガーデンビーチ

グアムで最も美しい本格的プライベートビーチ

Discover Nature & Harmony.



ツアー名	大人	子供(6-11才)	出発	帰着
①デイツアー(ランチ付き)	\$84	\$46	8:00~	14:55~
②デイツアー(ランチ付き)	\$84	\$46	10:35~	17:25~
③半日ツアー(ランチなし)	\$54	\$36	12:35~	17:25~
④1日ツアー(ランチ付き)	\$94	\$52	8:00~	17:25~

※5才以下のお子様:無料 ※水に入る際にはライフジャケット、ビーチシューズを必ず着用頂きます。

- 青い海、白い砂とヤシの木の木陰でのんびり
- 魚達の天国、驚きの透明度の水中でシュノーケリング
- お友達やファミリーでビーチバレー、カヤックなど楽しいアクティビティ
- ビーチを眺めるトロピカルなダイニング
- 熱帯の花木のガーデン散策
- お湯の出るシャワー、水洗のトイレ、冷房の部屋など充実した設備
- スタッフの行き届いたサービスをお楽しみください



本場アメリカの味 バーガーキング

- タモンベイセンター店 **NEW**
- グアムプレミアアウトレット店
- マイクロネシアモール店
- グアム空港店

www.bk.com



人気No.1のメニュー BIGサイズのワッパー

[とてつもなく大きい]を意味する
WHOPPER(ワッパー)を試しましたか?
アメリカンサイズのボリュームと旨味に大満足!

- ワッパーは、直径約13cmの大きなハンバーガー
- 直火焼きの100%ビーフパティの重さは113g

HAVE IT YOUR WAY®

ニッポンレンタカー -グアム-

www.nipponrentacarguam.com

☎646-1243 まで日本語でどうぞ。

日本語で安心・車種充実のニッポンレンタカー



18才から日本の
免許証で運転できます。

オプション
キャンペーン



人気のアクティビティとのセット利用で
レンタカーご利用料金が **\$10~\$15** 型

らんらん キャンペーン

1日間 \$74/日
[\$21もおトク!]
2日間 x \$69/日
[\$52もおトク!]
3日間 x \$64/日
[\$93もおトク!]

嬉しい特典付

家族旅行の多様なニーズに応える ウエディング、シニア層へも新たな取り組み

パッケージ旅行のシェアが高い Guam。最近の傾向として、家族旅行の好調ぶりを挙げる旅行会社は多い。夏休みや年末年始、春休みなどのピークシーズンはもちろん、学校の時期に関係ない赤ちゃん連れ、未就学児を連れた家族旅行が値段的に安いオフ期に増えているという。こうした家族旅行形態の多様化に対応すべく、各社新たなサービスを打ち出している。またウエディングやシニア層への新たなアプローチにも積極的だ。

ジャルパック JALPAK 赤ちゃん対応にこだわり ファミリー、海外ウエディングにも工夫

Guamを支える 家族旅行と夫婦旅行

もともと家族旅行とハネムーンが主体だったジャルパックの Guam 方面だが、最近では家族旅行の比率が上昇、Guam 方面全体の7割程度にまで増えている。また日本航空の Guam 路線ビジネスクラスを組み込んだ商品の人気もあって、夫婦旅行も一定のシェアを確保。「家族旅行と夫婦旅行を合わせれば全体の8割を占める」(永井氏)という。

今年の夏は、円安による国内リゾートへのシフトが見られるものの、下期では目新しさに訴えるのではなく、「これまでの商品をお客様目線で細かく見直し、一つ一つの商品力を上げていく」ことにより、販売の上積みを目指す。

赤ちゃん連れでも安心のサービス

同じ家族旅行でも、小学生連れの家族旅行が主体となる春休みや夏休みシーズンとは異なり、下期は、赤ちゃん連れの家族旅行や未就学児童を含む3世代旅行が増える。とりわけ10月～12月はそうした傾向が強い。

このためジャルパックでは、赤ちゃん向けのサービスを強化している。とくに「Guamで赤ちゃん連れの家族旅行に初挑戦する旅行者が多い」(永井氏)ことから、赤ちゃん連れが安心できるサービスを用意している。

まず、コンビ社との提携により、ベビーカー用グッズ(やわらかコンパクトエプロンとヌードルカッター&スプーン)とベビーカーのレンタルを無料でサービス。またホテル・ニッコー・Guamに宿泊する「いっしょにべびちゃん!! Guam 4・5日間」では、1日10部屋限定でコンビルームを無料手配する。

さらに有料サービスとなるが、かさばるオムツなど、赤ちゃん用品を現地で用意する「赤ちゃんパック」を1セット15ドルで提供。オムツやおしりふき用ウェットティッシュ、泳げるオムツのセットで、「すべて日本製なのが安心できると、母親からの評価が高い」という。

3世代へ家族写真をサービス

一方、3世代の家族旅行向けには、追加料金不要の「3世代思い出特典」として、旅行中の家族写真をミニアルバムにしてプレゼント。プロのカメラマンが30分ほどで家族の写真を撮影、撮影した写真を12ページ/12カットのミニアルバム



海外商品企画第1部 ハワイ・ミクロネシアグループ 永井寛のアシスタントマネージャー

にして、撮影当日あるいは翌日に届ける。またIDとパスワードを発行し、専用サイトにアクセスすれば、ミニアルバムに収めていない写真が閲覧できるほか、アルバムの有料アップグレード、希望する写真の焼き増しも可能だ。

ファミリー旅行で新たな提案も

また「お子さま連れ旅行の不安を解消!」をキャッチフレーズとする、2歳～6歳未満の子供連れ家族旅行「おでかけ! ママ☆キッズ」の内容を下期よりリニューアル。2日目に特製ディナーが付き、3日目には2つの体験プランから1つを選べるという基本内容は変わらないが、特製ディナーの内容を和食ディナーに一新した。

さらにWeb上では、テーマを絞った家族旅行を提案。たとえば現在特集しているのが「Guamの遊べるプール特集」。「ロングスライダーやウォーターパーク、泳げる水族館など個性的な楽しいプールが豊富なGuamの魅力を前面に打ち出した」(永井氏)内容で、オンワード・ビーチ・リゾート、PIC Guam、ホテル・ニッコー・Guamを商品化している。

ウエディングは Web販売をトライアル

下期に重要性を増すのが海外ウエディング需要。とくにオフ期はウエディングの比重が高くなり、「ウエディングを獲得できれば、同行者の旅行も取り込める率が高く、積極的に強化していく」(永井氏)考え。

しかし海外ウエディング商品は、販売に際してコンサルティングの要素が大きく、専門知識がないと売りづらいのが課題。そこでジャルパックでは、店舗完結型とされてきた海外ウエディング商品を、あえてWeb上で簡単に売れる商品として販売する試みをスタート。ハワイ方面ではすでに販売を開始し、Guam方面でも下期から「e-JAL ウエディング」として発売した。

商品はWebで販売しやすいよう、シンプルに徹した内容だが、海外挙式に必要なものはすべて含む。予約まではWebで完了し、5日以内にワタベウエディングのコンシェルジェから連絡が入り、各種相談やオプションの要望に応じる。永井氏は「今後は日本航空の機内誌やメールマガジンなども使って告知し、新しいウエディング商品の販路を開拓していきたい」と述べ、今後の展開に意欲を見せる。

JTBワールドバケーションズ JTB World Vacations

ファミリー需要の取り込みをより幅広く 未就学児や3世代需要にも商品対応

円安の向かい風をしのぐ

JTBワールドバケーションズによると、ルックJTBのミクロネシア方面(全国発着)の13年上期販売見込みは前年比103%の13万6000人で、上期の設定目標どおりとなりそうだ。下期も前年比103%をクリアすれば、年間計画通りの販売人員28万7000人(前年比103%)に到達する。数字上は順調な上期だったといえる。

しかし目標達成の道筋は平坦ではなかったという。今上期は「円安が影響したうえ、東京ディズニーランド30周年や国内線LCCの就航効果で沖縄旅行の人気も上昇したため、ミクロネシアには向かい風となった」(福嶋氏)。

またゴールデンウィークの販売は休日の日並びにも左右され昨年より全体的に苦戦した。このマイナス分をゴールデンウィーク明けのオフ期に対策商品を打って何とか持ち直したというのが実態だという。

夏の主力商品「わいわいファミリー」についても、国内旅行好調の影響を受けたが、子供代金半額やジュニア代金半額の施策、ベネッセコーポレーション監修の「英語を話そう」イベントを今年も継続。また夏休み自由研究プランも充実させた事で、昨年好調だった数字には届かなかったが、それに近い販売人員を今年も確保した。

さまざまな家族旅行に対応

家族旅行需要は、年間を通じてGuam旅行の主力となっており、ルックJTBでは年間での取り込みを強化している。夏休みの主力客層となるのが小学生以上の子供と両親の家族旅行であるのに対し、夏休み以外の特に価格が下がる時期には、学校のスケジュールに縛られない未就学児童と両親の家族旅行や3世代の家族旅行の割合が相対的に上昇する。

このためルックJTBは、季刊発行の黄色いパンフレットの中の「家族でGuam」コースで、子供代金半額を通年で用意している。またミキハウス子育て総研認定の「ウェルカムベビーの部屋」も好評。3年目を迎え、家族旅行者にも浸透し、指名買いもあるという。「今後は内容も再度見直しを加えブラッシュアップしていく」(福嶋氏)との方針だ。

3世代旅行に対しては「初めての3世代旅行にもおすすめ」をうたった「ファミリー・サミルGuam 4・5・6日間」を設定。さまざまな特典を用意して3世代旅行を支援している。たとえば6名以上のグループには、1人2000円割引の適用や空港～ホテル間の往復送迎に専用車を用意(1日2組限定)する。

こうした取り組みにより「赤ちゃん連れにも優しい『ウェルカムベビーの部屋』、子供の夏休みに最適な『わいわい



東日本販売本部 ミクロネシア部 企画チーム 福嶋淳子(左) チームマネージャー(右) 福井独氏

いファミリー」、3世代家族旅行商品など、ルックJTBとして家族旅行需要に幅広く対応し、赤パンフ・黄パンフ、ウェブ商品、さらにガクタビと、オールクスター、オール年代に対して、いつでもルックJTBでGuam旅行を楽しんで頂けるような態勢を整えていきたい」(福井氏)としている。

シニア層のニーズにも目配り

一方、シニア層向けには、今年度より「2人で100歳プランのお部屋」プランを設定。対象のホテルでは、追加料金なしで部屋にフットマッサージ機や携帯うちわ等のアメニティを用意する。「シニア層は、絶対数はまだ少ないが、50歳以上の伸び率は高く今後ますます期待できる」(福嶋氏)。

またGuamといえば、ビーチアクティビティのイメージが強いことから、海に入らなくてもシニア層も楽しんでいただけの滞在中の過ごし方提案として、自然と歴史を巡る「南部観光プラン」や「ハガニヤ史跡巡りツアー」をオリジナルで設定。さらにアクティブなシニア層へ学びの提案として、「少人数制ダイビングライセンス取得」のオプションツアーも用意している。

他にも、社員旅行をはじめとするグループ旅行への取り組みも強化。今下期からはパンフレット上でグループ特典を「グループ応援」としてコラム枠で掲載。10名以上のグループを対象とした特典で、空港⇄ホテル間の専用車送迎、特定レストランや一部ホテルでの特典提供、オプションツアーの割引特典に加え、さらに期間限定で35日前までの早期申込み特典として、おとな総額50ドル分の割引クーポン冊子プレゼントなど、全部で5つの特典を用意した。「秋のシーズンにウエディングと並んで期待されるグループ旅行の取り込みを図りたい」(福嶋氏)としている。

ウエディング販促に新アイデア

ウエディング需要の取り込みについても、現地でのブライダルフェア開催という新しいアイデアを投入。現地では体験できない事を実際に見て体験し、リゾートウエディングの良さを実感できる「ルックJTB体感型ブライダルフェア in Guam」を来年2月と3月に計3回開催する。現地フェア参加後の成約特典も用意。まさにGuamという近いデスティネーションならではの企画で、海外挙式を検討しているカップルはもちろん、母娘などの参加も見込む。



オープン30周年、利用しやすいホテルとしてさらに進化 抜群の立地とリーズナブルな料金で高い支持

今年12月にオープン30周年を迎えるグアム・プラザ・ホテル。タモン地区の中心という立地の良さとリーズナブルな料金で人気は健在だ。客室やロビーのリノベーションはすでに完了。多目的スペース「カヒダ」がオープンし、隣接する「JPスーパーストア」の店内も改装を進めている。グループからFITまで幅広いマーケットに対応するサービスとプロダクトは30周年を迎え、トレンドやニーズに合わせてさらにアップグレードさせていく。

施設のクオリティーを向上 JPスーパーストアも改装中

グアム・プラザ・ホテルは今年12月にオープン30周年を迎える。2008年に完了したリノベーションでは、505室の客室がスタイリッシュに生まれ変わり、アメニティー類も必要最小限に絞り込む代わりに、それぞれの質を上げた。ロビーまわりもモダンな雰囲気になり、ラグジュアリー感を向上。そのリーズナブルな料金はそのままに各施設のクオリティーを上げることで、より快適に過ごせる宿泊環境を実現している。



同じ企業グループが経営するグアムで人気のショッピングセンター「JPスーパーストア」は、長年トレードマークだったオレンジの岩から、モダンなスタイルとパシフィックアイランドの歴史を取り入れたデザインへと外観のリニューアルを昨年終え、今年7月末には全体改修の4分の1が完了した。今年12月には再び改修に入り、メンズコーナーが拡大され明るくスタイリッシュに、そして来年にはすべてのリノベーションが完了し、より見やすい店内へと生まれ変わる予定だ。グアム産のお土産からアメリカン雑貨まで豊富なアイテムが揃い、ディーゼルやジューシークチュールなどのハイエンド、ジースターやDスクエアード2など人気のメンズファッション、カジュアルなサーファーズブランドなどアパレル製品も充実している。また、高級ブランドからドラッグストア系コスメ類の品揃えも豊富で人気を博している。



柔軟なセッティングが好評 多目的スペース「カヒダ」

グアム・プラザ・ホテルは2011年10月に多目的スペース「カヒダ」をオープンさせた。利用者のニーズに合わせてさまざまなテーブルレイアウトにアレンジ可能で、パーティーションを用いることで少人数での利用にも対応する。収容人数は着席スタイルで最大350名。

ハーフステージにビュッフェラインを設け、円形テーブルを30セット設置した

場合、300名の収容が可能となる。このほか、イスだけを並べてシアター仕様で利用することもできる。

柔軟なセッティングが可能なことから、利用目的も幅広く、ウェディング、セミナー、パーティー、コンサート、展示会などのほか、学生グループ向けには体育館的な用途でも使用することができる。レジャーグループだけでなく、MICEにとっても利便性の高いスペースだ。

リゾート感いっぱい レストランで楽しくダイニング

ダイニングが充実している点もグアム・プラザ・ホテルの大きなメリット。ホテル内にあるアジア・ビストロ「ジャ」は、地元チャモロ料理をはじめとするアジア料理を朝食、ランチ、ディナーで提供。朝食メニューでは、ローカル産のココナッツを使って考案された南国の香りがたっぷり楽しめるココナッツパンケー

キをはじめ、ウベパンケーキやサーモンエッグベネディクトなど、オリジナルメニューを用意。またディナータイムには、週三日限定でチャモロ料理のバイキングを提供するなど、グアムらしさにポイントを置き、アップグレードしたメニューを展開している。

ビーチに面した「セイルズBBQ」では、厳選素材で自分流にバーベキューを楽しめる。屋外ながらも屋根があるため雨でも心配がない。さらに、オープンエアのため、喫煙もOK。貸切も行なっており、最大で220名の利用が可能だ。

このほか、同じくビーチに面した「ナナズカフェ」もリゾート感がたっぷり味わ



える人気のレストラン。新鮮なシーフードのほか、ステーキの種類も豊富に揃っており、さまざまな組み合わせで食事を楽しむことができる。

ウォーター・パーク「ターザ」で 常夏のグアムを満喫

ホテルに隣接するウォーター・パーク「ターザ」もグアムでは人気のアトラクション。スリル満点の「スピードシュート」スライダーからファミリーで楽しめるウォータースライダー「ファミリア・フレーム」まで常夏のグアムをまるごと楽しめるアトラクションがそろっている。また、のんびりと時間を過ごせる人工ビーチやプールもあるため、リラクゼーションにもぴったりのパークだ。

グアム・プラザ・ホテルでは宿泊者向けに割引料金を設定。ホテルからアクセス抜群のビーチとともに、ターザでもお手頃に遊ぶことができる。



使い方は自由自在。 ご要望に合わせてアレンジ可能!



多目的スペース カヒダ

グアムで最も新しく、注目の多目的スペース「カヒダ」。

チャモロ語で屋外を意味するように、明るく開放的な空間が「カヒダ」の特徴です。グループでの食事会場として、企業内の表彰式、企業セミナー、また結婚披露宴、誕生日パーティーなどにもご利用いただけます。

サイズ: 548㎡ ヒルトインスクリーン完備 (6×6m)

結婚、卒業、誕生日などの各種記念日

コンサート、ダンス・ミュージックリサイタル、ファッションショー、トラベルフェア、オークション、新商品発表会、展示会、展覧会などの各種イベント



東京事務所 TEL. (03)3249-0860 FAX. (03)3249-2348
TEL. 1(671)646-7803 FAX. 1(671)646-7809
1328 Pale San Vitores Rd. P.O.BOX 7755 Tamuning Guam 96931
www.guamplaza.com



会議室

最大着席数: 72 席
24 テーブル



シアター

最大着席数: 350 席



セットアップ例

最大着席数: 300 席
30 テーブル・10 脚
buffetライン設置可能

マリンスポーツと文化体験で教育旅行に高い訴求力 楽しめるチームビルディング・プランを提供



タモン地区から車で約10分、タムニング地区のアガニア湾に面したビーチでマリンスポーツやグアムの文化体験を提供しているオーシャンジェットクラブ。さまざまなアクティビティを通して、グアムの自然と文化を学べるだけでなく、チームビルディングが行える場としてもグループ旅行で高い人気を集めている。特に教育旅行の受け入れには定評があり、「遊び」から教育効果が得られるプログラムを多彩に用意している。

豊富なマリンスポーツ 人気の文化体験教室

オーシャンジェットクラブは、美しいアガニア湾を臨む遠浅で穏やかなビーチにある。主要ホテルへは定期バスが走っているため、アクセスが容易なほか、大型バスでの移動も可能だ。

施設も充実。トイレ、シャワー、更衣室が完備され、ロッカーは無料で利用することができる。敷地内には、ドリンクや軽食が楽しめる「海の家」や「ロゴショップ」、アルコール類が飲める「ハッピーテント」があるほか、喫煙エリアも設置されている。

白砂ビーチで楽しめるマリンスポーツは多種多様。マリンスポーツの定番「ジェットスキー」、仲間と賑やかに楽しめる「バナナボート」、開放感たっぷりの「パラセーリング」、スリル満点の「スクリーマー」、空中に跳ね上がりながら海面を疾走する「フライバナナ」、初心者でも楽しめる「ウェイクボード」など豊富にそろえる。

このほか、子ども向けとして、「キッズボート」、「サーフェスボート」、「キッズジェット」などもあり、ファミリーで楽しめるアクティビティも充実している。

また、広々としたパノラマビーチで思いっきり遊べるビーチ・アクティビティも多い。ビーチバレーボール、ミニサッカー、ミニフットボール、フリスビー、ペダルボート、カヌーなどのほかに卓球台も設置されており、終日いつでも利用することが可能だ。遊び疲れたら、椰子の木陰に吊るされたハンモックでのんびりと休憩。南国らしい1日を過ごすことができる。

ランチはビーチでチャモロ風BBQ。潮風を感じながら、ローカル気分でランチプレートを楽しめるようにしている。

さらに、グアムの自然と文化を体験す

るプログラムとしてエコ教室も提供しており、ミクロネシアに古くから伝わる椰子の葉細工教室、グアムらしくココナッツについて学ぶ教室、陽気なスタッフと一緒に楽しむアイランドダンス教室などが用意されている。

選択可能なゲームも多彩 充実のチームビルディング・プラン

オーシャンジェットクラブの特徴のひとつが、チームビルディングに力を入れているところだ。課題や目標に向かって、役割を分担しつつ、コミュニケーションを図りながら仲間同士の結束力を高めていく。オーシャンジェットクラブでは、楽しく参加できるチームビルディング・プランを用意することで、チームワークの強化に一役買っている。



プランには、専用車送迎、専用テント、ランチ、コーディネーター1名、ゲーム2〜3種類、ビーチアクティビティ(終日使い放題)が含まれる。

選択できるゲーム内容は、綱引き、カヌーレース、ドッジボール、ビーチフラッグ、ムカデ競争、フラフープリレー、騎馬戦、宝探し、アイランドダンスコンテスト、エブリバディ・スタンダアップ、レスキュー講義と豊富。チームに分かれてビーチでゲームを行い、チーム力を高

めていく。

チームビルディングは、社内研修旅行などのほか教育旅行でも注目されているプログラム。チーム一丸となることで、クラスの親睦を深め、チャレンジ力を高める。また、コミュニケーション力の強化や自己能力の開発にもつながると期待されている。オーシャンジェットクラブでは、開放的なグアムの自然のなかで、楽しみながらチームビルディングを行える環境を整えている。

グアムだからこそ可能な 遊んで学べる素材

遊びというイメージが強いマリンスポーツだが、その本質には高い学習効果があり、グアムで体験するからこそ学べることも多い。ココナッツの利用法や椰子の葉細工、アイランドダンスなどでグアムの自然と文化を学ぶ。美しさと厳しさを兼ね備えた海の環境を学ぶ。フレンドリーなローカルスタッフとコミュニケーションを取りながら活きた英会話を実践する。南の島グアムで仲間の新しい一面を発見する。そして、日本では体験できないマリンスポーツを通じて「自然との調和」を肌で感じる。グアムには、遊びのなかから学べる素材が豊富だ。

オーシャンジェットクラブは、安心して遊んで学べる環境を整えている。敷地面積は約2,000坪と広大で開放的。大型バスの受け入れも可能なため、クラスごとの移動もできる。また、グアム総合病院までは5分の距離にあり、スタッフ全員がレッドクロス(救命士)の資格を保持しているので、緊急の場合でも安心だ。

グアムの魅力がはじける ダイナミックなパノラマビーチ

OCEAN JET CLUB オーシャン ジェットクラブ

Under the Sun

Sunset

“楽しい”を プロデュース

オーシャンジェットクラブでは、開放感溢れるビーチを活かした修学旅行や社員旅行など、グループのチームビルディングを図るプログラムを豊富にご用意しております。半日・1日プラン、ナイトプランなど、お気軽にご相談ください。

OJCの 魅力

- ◎ホテル街からわずか10分
- ◎人気のマリンスポーツが勢揃い
- ◎全バックに南国体験+ランチ付き
- ◎3世代で楽しめる遠浅ビーチ
- ◎最大500名受け入れ可能!
- ◎キッズプログラム多数で用意

オーシャンジェットクラブ TEL:671-646-2294 | Fax:671-646-2295 | Email:ojc@ite.net | www.oceanjetclub.com | P.O. Box 3058 Hagatna, Guam 96932

オープン20周年を迎えたグアム屈指のハイグレードホテル 記念イベント盛りだくさん、SNSキャンペーンも



今年オープン20周年を迎えるハイアット リージェンシー グアム。1993年10月1日の開業以来、信頼のホスピタリティを提供し続け、高い評価を集めてきた。ハイアット リージェンシー グアムでは20周年を記念してさまざまなスペシャルイベントを実施。また、新しく迎えたエグゼクティブ シェフによる特別メニューを提供しているほか、SNSを利用したキャンペーンも展開している。これからもグアム屈指のハイグレードホテルとして、幅広い層に訴求力を高めていく。

記憶に残る 20周年記念特別メニューを提供

ハイアット リージェンシー グアムはオープン20周年を記念して、今年4～10月にかけて、記憶に残るダイニング体験として特別メニューを提供している。まず、4月12日には「アルデンテ リストランテ」でランチとディナーのメニューを改定。イタリア人エグゼクティブ シェフのミルコ アゴスティーニ氏によるイタリア料理セレクションを始めた。各料理は素朴なイタリア料理の伝統を受け継ぎながらも、シェフの確かな腕が発揮されたものだ。ランチでは「シェフ ミルコのランチバー」を設置。伝統的なアンティパスタ(前菜) サラダ ブュッフェとともにパスタ、ピッツァ、アントレを提供し、豊富なデザートが並ぶデザートバーも設けた。



提供し、豊富なデザートが並ぶデザートバーも設けた。

ハイアット リージェンシー グアムでは、新しいダイニングメニューを改定することで、ホテルとしての質を高めるとともに、宿泊者に対してこれまでにないホテルライフを体験する機会を提供していきたい意向だ。

豪華賞品をそろえた SNSキャンペーン展開中

5月には、フェイスブックとツイッターのユーザー向けに「Your Life/Your Moments」と題したソーシャルメディアキャンペーンも開始した。これまでの20年間にハイアット リージェンシー グアムで体験した特別な時間の思い出をシェアするという試み。

フェイスブックとツイッターのフォローに対して、過去ハイアットで行ったウェディング、誕生日、記念日などのスペ

シャルイベントで撮影した写真の投稿を受け付け、投稿者のなかから抽選で、宿泊券、ダイニング券、リゾートパスなどの豪華賞品が当たるというキャンペーンだ。

各種イベントについては、guam.regency.hyatt.comやフェイスブックで確認できる。また、定期的に更新されるツイッターやインスタグラムでも最新情報を入手することが可能だ。

リノベーションで ホスピタリティをアップ

1993年のオープン以来、質の高いサービスとラグジュアリーな施設を提供してきたハイアット リージェンシー グアム。オーシャンビューの部屋、さまざまなリゾートアクティビティ、受賞歴のあるレストランなどリゾートホテルとしての充実ぶりは高い評価を受けてきた。

2008年には、数百万ドルをかけて、部屋、ロビー周り、リージェンシー クラブラウンジのリノベーションを完了。2010年には、「ザ デリ」がよりモダンに生まれ変わり、宿泊者が気軽に楽しめるダイニング オプションを加えた。さらに2012年にはプールとレクリエーションスペースを全面改装。グアムで最大級の子供用プールも設置した。



こうしたリノベーションを通じて、忘れられない体験ができるホテルとして存在感を高めるとともに、グアムで最高のレストランとしての地位を確かなものにしてきた。

アゴスティーニ氏を中心にした 強力なダイニング チーム

ハイアット リージェンシー グアムは、新しいエグゼクティブ シェフとしてミルコ アゴスティーニ氏を迎えた。アゴスティーニ氏は、2002年から2004年にかけて「アルデンテ リストランテ」で働いたあと、4年間ハイアット リージェンシー インチョンでエグゼクティブ シェフを務めた。これまで20年にわたり、イタリア、スイス、ロンドン、オーストラリア、バリ島などで豊富な経験を積んできた。

ハイアット リージェンシー グアムのダイニングは、アゴスティーニ氏のリーダーシップのもと、2名の副料理長と飲料専門チームによって提供されている。副料理長のジョー オング氏とケニー ホンマ氏とも経験豊富。オング氏はハイアット ホテル&カジノ マニラで腕をふるったあと、2008年にハイアット リージェンシー グアムのアルデンテ リストランテに参加。さまざまな新しいメニューを生み出してきた。

一方、ホンマ氏はアジアの各ハイアット ホテルの日本料理レストランで研鑽を積み、今年6月にハイアット リージェンシー グアムに迎えられた。日本料理で豊富な経験があるとともに、さまざまな要望を組み入れたインベントメニューの開発でも定評がある。



ハイアット リージェンシー グアムで過ごす休日



レクリエーション施設

ホテル内には庭園の中に位置する3つのプールや2面のテニスコートを設け、ビーチアクティビティーなど様々なアクティビティーをお楽しみいただけます。フィットネスセンターでは最新のエクササイズマシンをご用意致しました。5歳から12歳のお子様にご参加いただけますキャンプ ハイアットは楽しく学べるお子様の為のプログラムです。



客室

近頃、改装工事を終えたばかりの450部屋の客室はモダンリゾート ラグジュアリーとして生まれ変わりました。何れの客室もタモン湾のエリアとしては最大の42平米と言う広さからなり、また、すべてのお部屋から素晴らしいオーシャンビューをご覧いただけます。大切な方とのお二人でのご旅行や、ご家族揃って、あるいは気の合うグループ皆様でのご旅行ではハイアット リージェンシー グアムにてリゾート ライフをお楽しみ下さい。



シーサイド デッキ

アウトドアでのイベントにはシーサイドデッキがお勧めです。タモン湾の美しいオーシャンビューやグアムの美しいサンセットを眺めながら、カクテルパーティーや、バーベキューディナー、披露宴はいかがでしょう。エレガントな白いテントとシーリングファンが快適な空間を演出します。



リージェンシー クラブ ラウンジ

12階に位置するオーシャンビューのラウンジは、リージェンシー クラブのお客様専用にご用意しております。よりいっそう広々としたラウンジにはバルコニー席、プライベートルーム、セミ プライベートエリアを設け、無料のインターネットアクセスやコンシェルジュサービスをご利用いただけます。



スパ スイート&スパ ルーム

豪華オーシャンビューのスパスイートではフェイシャルやマッサージなどのトリートメントをご堪能いただけます。又、プライベートルームでのトリートメントも各種ございます。



HYATT
REGENCY
RESORT

ご予約はワールドワイド リザーベーション センター東京 (03-3288-1234)
又は直接ハイアット リージェンシー グアムまでファックス
(1-671-647-1235) にてお問い合わせ下さいませ。
guam.regency.hyatt.jp

「ハイアット」の商標及び関連する標章は、ハイアット インターナショナル コーポレーションの商標です。この文書に関する著作権は、全てハイアット インターナショナル コーポレーションが保持します。©2013 Hyatt International Corporation. All rights reserved.

ワールドクラスのエンターテインメント 団体需要にも多彩なアレンジ



グアムで唯一、ワールドクラスの本格的エンターテインメントを提供する「サンドキャッスル・ラスベガス・シアター」。オリジナルステージショー「ドリームⅢ 2013バージョン」は、グアムで最も人気のあるアトラクションのひとつ。エキサイティングかつ豪華なステージで、アツと驚く演出は、絶えず進化。初めての人はもちろん、リピーターにも満足できる内容で、言葉の心配も不要だ。また多彩なアレンジで、企業インセンティブから修学旅行、ウェディングまで、団体需要にも幅広く対応し、グアムでの忘れられない貴重なひとときをプロデュースしてくれる。



絶えず進化し、いつ見ても楽しい 「ドリームⅢ 2013バージョン」

絶えず進化するサンドキャッスルのオリジナルステージショー。最新バージョン「ドリームⅢ 2013バージョン」は、はじめての人はもちろん、以前サンドキャッスルのショーを観たことがある人でも、新鮮な驚きと感動を与えてくれるはずだ。

ショーのテーマは「夢」。夢が叶う「幸福の白い羽根」を追いかける二人の少女。いつしか夢の世界に迷い込んだ少女たちの前に、想像を超えるイリュージョン、驚きのアクロバットとサプライズが次々と巻き起こる。幻想の世界から平和な「ひとつの世界」へ、少女たちの夢は果たして叶うのか。ショーでは、世界の平和、そして「誰でも夢を叶える力を持っている」というメッセージが込められている。

ショーは、サンドキャッスルのオーナーでもあるマーク・バルディガ氏がプロデュース。「シルク・ド・ソレイユ」やマドンナなど、大物アーティストの公演を手がけたクリス・チルダース氏も演出に加わり、世界最高レベルのエンターテインメントを提供する。



驚きのイリュージョンとアクロバット 誰でも楽しめる内容で言葉の心配も不要

ショーの見どころは、ストーリーだけにとどまらない。まず世界最高峰の若手マジシャン、アンソニー・リード氏が繰り広げるイリュージョンは必見。ホワイトタイガーやスポーツカーが突然現れる大がかりな仕掛けには、誰もがアツと驚くはずだ。

また見逃せないのが、客席の目の前で繰り広げられるアクロバティックな技の数々。そのどれもが躍動感にあふれ、思わず目が釘付けになってしまう。ステージを盛り上げるダンスやオリジナルソングも要チェック。さらに雨が降ったり、風が吹いたり、臨場感あふれるステージ効果にも注目したい。

ショーの公演時間は約60分。イリュージョンやアクロバット、歌やダンスが中心のショーなので、英語が分からなくても楽しめる。どこの席でもそれぞれ違った楽しみ方があるので、リピーターも大満足。さらに年齢制限がないので、家族連れにもおすすめ。サンドキャッスルのショーは誰でも楽しめる。



グアムで唯一のディナークルーズ 「BIGクルーズ」

雄大な海原と美しいサンセットを眺めながら、グアム伝統の「チャモロ料理」も味わえる豪華なバーベキュー・バイキング料理が大好評の「BIGクルーズ」。バイキングディナーの他、ビールやワイン、ソフトドリンクなどの飲み放題と、底釣り体験なども含まれている。満天の星空の下、クルーズデッキでのダンスタイムもきっと楽しいはず。運がよければ、イ



ルカに出会えることも。グアムの思い出づくりにはぴったりだ。

2階デッキ席を予約できる「VIPプラン」は、每晚2グループ限定(1グループ2から4名)で特に人気。大人10名からの団体料金、サンドキャッスルのショーと組み合わせたコンボパッケージも用意している。最大65名まで収容できるので、船上での打ち上げパーティーなど、グアムならではのオリジナリティが求められるグループへの提案に最適だ。

ニーズに応える多彩なパッケージ 「SUPER VIP」からカジュアルなプランまで

サンドキャッスルでは、手頃な料金で楽しみたい、VIPシートで豪華に楽しみたいなど、いろいろなニーズに応える多彩なパッケージを用意している。プランは6つをラインナップ。「カジュアル」と「デラックス」、「VIP」の3つの座席に、それぞれショーのみの「観(カン)ショー」プランとディナー付きのディナー・プランの2つがある。

例えば「観ショープラン」は、1回目(19時開場、19時半開演)と2回目(21時開場・21時半開演)から選択が可能。子供連れや翌朝早い場合は1回目、ショッピングや食事をゆっくり楽しんだ後は2回目と、スケジュールに合わせて選ぶことができる。

また好評なのがディナー付きプラン。全プランにデザートが付くほか、デラックス及びVIPのディナーでは、5種(ステーキ、ロブスター、野菜、チキン、サーモン)から選べるメインをはじめ、本格的コース料理を味わえる。

さらにSUPER VIPシートでショーが楽しめる「SUPER VIPプラン」は、1日2組限定。専用車送迎や「ステーキ&



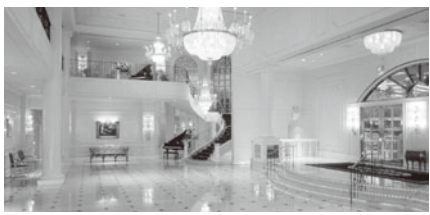
ロブスター」のコンビネーションがメインのディナーなど、「King&Queen ディナー・プラン」の名の通り、豪華でエクスクルーシブな内容。パフォーマーからの挨拶やバックステージ見学も付く(1組あたり、2～5名での参加が可能)。

万全のバリアフリー対応

バリアフリー対応も万全。予約時に申し出れば、リフト付きバスでの送迎サービス、段差のないシートへ案内するなど、車いす用の出入り口や車いす対応のトイレも館内に完備。ディナーでは、食物アレルギーに対応した特別メニューを用意する。

団体需要に幅広い対応力 MICE(大型から小グループ)、ウェディング、修学旅行も

サンドキャッスルのディナーシアターは、500席とグアムで最大級の収容規模。ショーの貸し切り、本格的なステージ装備を使った式典や表彰式など、大型団体でも充分対応可能だ。タモン地区の中心



という立地も強み。ほとんどのホテルから車で5～15分でアクセスできる。また屋内なので、雨の心配も不要だ。

小グループには、ディナー用の個室を用意。吹き抜けのエントランスは、パーティーやレセプションに最適だ。ウェディング会場としても人気が高く、ケーキやお花、記念写真などのアレンジにも対応する(別料金)。

修学旅行におすすめの 舞台裏体験

サンドキャッスルでは、修学旅行向けの専用パッケージも用意する。内容は、ショー鑑賞に加え、通常見ることのできない舞台裏や舞台装置、メイクアップ・デモンストレーションやダンス・ワークショップなどのアレンジが可能。特に美容系や電気系の専門学校、短大に好評だ。

グアム最大のクラブ「グローブ」 イベント会場にもおすすめ

サンドキャッスルに併設するクラブ・スペース「グローブ」は、グアム最大の広さを誇り、HOUSEやR&B、HIP HOPなど、最先端のミュージックが流れるグアムで最もホットな場所。国籍や年代関係なく、グアムの熱い夜を楽しみたいなら、ここがおすすめだ。



40名収容可能なVIPラウンジの「マンハッタン・バー」は落ち着いた大人の雰囲気。他にも屋上テラスの「LAテラス」(30名まで収容可能)他、複数のVIPエリアを新設。

全部を合わせた収容人数は500名。テーマパーティーや屋内型チームビルディング、コンサートやファンクラブイベントなど、目的に応じた利用ができる。また二次会などのカジュアルなパーティーにもおすすめだ。通常の営業時間は夜の20時から深夜2時まで。タモン、アガニヤ地区のホテルから無料送迎があるので、安心して盛り上がる事ができる。



Once in a Lifetime...Every Time.
— 夢の時間を探しにいこう。—

ハイクオリティーな厳選ツアーで!

特別なグアムの休日は
個人旅行から、大型団体、
ウェディングなど全てのお客様に対応

E World Class Entertainment

ワールドクラス
エンター
テイメント

サンドキャッスル・ ラスベガスシアター



西洋と東洋のエンターテイメントが融合した、世界でも類をみないステージ。豪華な白亜の城の豪華ショールームで豪快なアクロバットと華麗なイリュージョンはグアムのみならず世界でも注目を集めています。シルク・ド・ソレイユやマドンナのショーを手がけたクリス・チルダーが監修、三次元で繰り広げられるダイナミックなステージを多彩なパッケージでお楽しみいただけます。



パッケージ名		(ショーは各日2回公演より お選び下さい)		大人料金 (12歳～)	子供料金 (2～11歳) 2歳未満無料	団体料金 (大人10名以上)	送迎 (タンアガニヤ地区内)
カジュアル・プラン(送迎なし) ☆後方およびコーナーのカジュアルエリアのお席で、お気軽にショーをお楽しみいただけます。 ※小さなお子様連れのファミリー、若い世代に人気!							
A	カジュアル「観ショー」プラン	1回目	\$75	\$15	—	送迎なし	
B		2回目					
C	カジュアル・ディナー・プラン	1回目	\$99	\$30**	—	送迎なし	
デラックス・プラン(往復送迎付) ※グルメ料理、カクテルなどとともにゴージャスにショーをお楽しみいただけます。							
D	デラックス「観ショー」プラン	1回目	\$95	\$30	M N	\$86	往復送迎付
E		2回目					
F	デラックス・ディナー・プラン	1回目	\$159	\$50**	O	\$144	往復送迎付
VIPプラン(往復送迎付) ※限定VIPシートにてセレブな夜をお楽しみ下さい。※2名様以上でご参加の場合は貸切席となります。							
G	VIP「観ショー」プラン	1回目	\$125	\$50	—	往復送迎付	
H		2回目					
I	VIP・ディナー・プラン	1回目	\$225	\$75**	—	往復送迎付	
SUPER VIPプラン ※1日2組限定のSUPER VIPシートをご用意します。パフォーマーの挨拶、バックステージ (専用車往復送迎付) 見学などの特典有 ※お申込みは、1組あたり2～5名様にて承ります。							
J	King & Queen ディナー・プラン	1回目	\$300	\$100**	—	専用車 往復送迎付	



1回目公演 お食事 18:00～ 開演 19:30(終演 20:45)
2回目公演 開演 21:30 (終演 22:45)

水曜定休

**子供料金のディナーはお子様料理を提供 (ハンバーガー等よりチョイス。スープ、デザート、ジュース付き)。
※カジュアルな服装可。館内冷房のため羽織るものの持参をお勧め。
※12月31日～1月3日は特別パッケージとなります。お問い合わせください。
各種記念日のお祝いに最適。プライベートルームでのお食事可 (要追加料金)
タモン地区DFSギャラリア向かい/ハイアットリージェンシー、アウトリガーグアム隣

Magic & Island Show

マジック&アイランドショー
マジック・オブ・グアム

ファミリーで、仲間といっしょに
小さなお子様でもいっしょにお楽しみいただけます

水・日曜定休

食べ放題バイキングディナー付き 大人 \$65 子供(2～11才) \$35



新ツアー



雄大なサンセットを優雅に楽しむグアム唯一のディナークルーズ。満天の星空、底釣り体験、デッキでのダンスタイム、イルカに出会えることも…。バイキングディナーとともに、グアムでしか体験できない時間をお過ごしください。

Cruising クルージング

BIGサンセットディナークルーズ

バイキングディナー

バーベキュー(お肉&シーフード)、チャモロ料理、サラダ、デザート、パンなど

ドリンク飲み放題

ビール、ワイン、ソフトドリンクなど

底釣り体験

大人 \$85 子供(2～11才) \$50

VIPコース(2階デッキ席をリザーブ)
毎夜2グループ限定・1グループ2～4名
大人 \$125 子供 \$70

大人10名様以上でお申込みの場合
大人 \$72 グループ料金



*カジュアルな服装でのご参加をおすすめいたします。また、ハイヒールの着用はお控えください。 *天候、海洋状況等により、内容およびスケジュールが変更となる場合がございます。 サンドキャッスルとセットになったコンボパッケージもございます。

Sea & Sightseeing

海&観光 「リナラ」グアム ビーチ&カルチャーパーク

グアム初のカルチャー&エコパークで、古代グアムへタイムスリップ! 様々なチャモロ文化に触れながら、グアムの歴史と自然を満喫できます。そして目の前のビーチで、海を眺めながらゆったりとランチ&ディナーをどうぞ!

パーク開園時間 1:00PM ~ 5:00PM

パーク内 カルチャー体験	チャモロダンス、チャモロ語レッスン、ココナッツの葉のクラフト作り、チャモロ伝統投石ゲームパトウなど日替わりで終日アクティビティをご用意しています。
-----------------	---

パッケージ名	大人料金 (12才以上)	子供料金 (2~11才)	ホテル お迎え時間	終了 時間	パーク 入場	ランチ
1デイ・パークパス	\$25	\$15	12:00PM~	~5:00PM	●	
パーク入園、ビーチステイ、送迎がセット。現地にてランチ・ディナーを追加できます。カルチャー体験(無料)付き。						
パーク&ランチ	\$40	\$25	11:00AM~	~5:00PM	●	●
1デイ・パークパスにランチをプラス。ランチメニューはザ・ビーチオリジナルバーガーまたはチャモロ風BBQプレートからお選びください。追加でアラカルトメニューもオーダーできます。カルチャー体験(無料)付き。						



両パッケージ無料送迎付



Bbq & Show

「ザ・ビーチ」BBQ ディナー&ショー

サンセットタイムに、本格的なビーチバーベキューはいかが? 足元に打ち寄せる波しぶきを感じながら味わうバーベキューは、美味しいを超える感動的な体験になります。無数の星が瞬く夜空の下、オン・ザ・ビーチのアイランドショーも必見です!



食べ放題メニュー
BBQ(ビーフ、チキン、海老、鮮魚、ソーセージ、野菜)、チャモロ料理(レッドライス、チキンケラグエン、チャモロ伝統フィナデニソース)、各種サラダバー。

全パッケージ無料送迎付

「ザ・ビーチ」BBQプラン

大人 **\$49** 子供(2~11才) **\$25**

食べ放題BBQメニュー。追加料金\$10にて、飲み放題プラン(ビール、ソーダ類)可。(2~11才は\$5)

「ザ・ビーチ」VIP BBQプラン

大人 **\$85** 子供(2~11才) **\$45**

上記食べ放題BBQメニューにシーフード(ロブスター)、フィレ・ステーキが追加されます。飲み放題(ビール、ソーダ類)付き。

Night Life

グローブ・エンターテインメントセンター

ナイトライフ

タモン地区プレジャーアイランド内に位置するグアム最大のクラブ。ホテルからの無料送迎もあり、安心してノリの良い南国の夜を楽しむことができます。

入場\$30 1ドリンク付き 8pm ~ 2am年中無休 無料送迎有り



On the Beach Dining

オン・ザ・ビーチ・ダイニング

ザ・ビーチ レストラン&バー

「リナラ」グアムビーチ&カルチャーパーク横

最高のサンセット・ビューポイントで波の音を聞きながらお洒落で清々しいダイニングはいかがですか。昼は洗練されたビーチバーの付まい。夜にはローカルたちも素敵な夜を楽しみます。地元の美味を取り入れたダイニングとしても知られ、各種ドリンクから軽食まで幅広く味わえます。



営業時間 11:00AM ~ 2:00AM

「ザ・ビーチ」のみの利用可(「リナラ」グアムビーチ&カルチャーパークの入園料不要)

●問合せ、資料請求

[日本] ☎06-6372-9210

[グアム] ☎(1-671) 646-8000/649-7263

[問合せメール] jpninfo@baldyga.com

BG ツアーズ <http://guam-bgtours.com/>

サンドキャッスル <http://www.guam-sandcastle.com/>

BG

BALDYGA GROUP

伝統のチャモロ文化を体験 人気のBBQディナー&ショーがリニューアル

グアム伝統のチャモロ文化を体験できるビーチリゾート、「リナラ」グアム ビーチ&カルチャー パーク。チャモロの伝統的なパフォーマンスに加え、迫力のファイヤーダンスなど、ここだけのオリジナルアイランドショーを、チャモロ料理のディナーやバーベキューと共に楽しめる「ザ・ビーチ」BBQディナー&ショーがこのたび内容を一新。またタモン湾を一望できるベストスポットが自慢の「ザ・ビーチ・レストラン&バー」では、海に沈む夕日を眺めながらのカクテルタイムを楽しめる。主要ホテルが集まるタモン地区にあるので、アクセスも抜群。さらに、今年4月にスタートしたグアムで唯一のマジックショーとアイランドショーがひとつになった「マジック・オブ・グアム」にも注目したい。

カルチャーパーク

グアムの自然と伝統のチャモロ文化を体験 修学旅行の定番



グアムの歴史と自然の魅力に触れることができるカルチャーパーク。まず、入口正面の「ビジター・センター」では、パーク内で発見された土器のかげらや装飾品、工具などを展示。貴重な映像も交えながら、グアムの歴史を体感できる。



また野生のジャングルには、1000年以上前に作られた石製の遺跡「ラッテ・ストーン」がそのままの姿で残る。そして約5000年前のチャモロ文化のスタイルを忠実に再現した古代チャモロ・ビレッジへ移動。ここでは、当時の家や服装、

ダンスや料理、ハンディクラフトなど、リアルに体験できる。

ヤシガニやカラバオ(水牛)など、グアムに生息する動物たちと身近に触れ合えるのがアニマルゾーン。餌付け体験などは、子供たちに大人気。またチャモロ文化を実際に体験できるカルチャー体験エリアでは、チャモロダンスやチャモロ語のレッスン、葉編みなどのハンディクラフト、チャモロ料理のデモンストレーションなど、幅広い内容で、チャモロ文化の素晴らしさを感じることができるだろう。

タモン地区にありながら、まるでプライベート・ビーチにいるかのような雰囲気広がるビーチエリア。屋外シャワーや更衣室はもちろん完備。ビーチバレーボール用のコートもあり、静かに過ごしたいなら、お洒落なガゼボで、のんびりとくつろぐこともできる。



タモン地区の立地で、らくらくアクセス 各ホテルより無料シャトルを運行

主要ホテルが建ち並ぶタモン地区にある「『リナラ』グアム ビーチ&カルチャー パーク」。ホテルニッコーグアムに隣接し、営業時間(毎日:13~17時)内は、タモン/アガニヤ地区のホテルより無料シャトルを運行。なお、カルチャーパークの入園料は大人25ドル、子供15ドル(2~11歳)で、2歳以下は無料と、ファミリーにうれしい料金設定だ。

「ザ・ビーチ」BBQディナー&ショー

「オン・ザ・ビーチ」の絶好のロケーション アイランドスタイルのオリジナルショーに一新



グアムで最もビーチに近い絶好のロケーションで、バーベキューとショーを楽しめるのが人気の「ザ・ビーチ」BBQディナー&ショー。今年7月からはショーの内容を一新、タモン湾を背景にした「オン・ザ・ビーチ」の特設ステージでバーベキューを楽しみながら、幻想的なサンセットをバックに、古代チャモロのパフォーマンスだけでなく、太平洋エリアの多彩なダンスも取り入れたアイランドスタイルのオリジナルショーが楽しめるようになった。

今から約3000年以上前、太平洋地区で最も古くから人が住んでいたと言われるグアム。まさにここは「太平洋エリアのルーツ」。このグアムから、太平洋の広いエリアへ、人類が広がっていったと言われている。こうしたストーリーを幻想的なイントロクダクションで表現。オリジナルショーでは、タヒチアン、フラ、ナイフダンスなど、多彩で盛り沢山のダンスショーが繰り広げられる。ステージのクライマックスは、間近に迫るステージでのファイヤーダンス。より一層南国ムードを盛り上げる。

ショーの途中には、飛び入り参加など、客席とフレンドリーなダンサーとの交流も。旅の印象をより一層鮮明に焼き



付けるに違いない。ここはグアムでも人気のエンターテインメント「サンドキャッスル・ラスベガス・シアター」と同じグループの運営なので、質の高いショーを楽しむことができる。

「ザ・ビーチ」レストラン&バー

タモン湾に沈む夕日は必見! ランチタイムも人気



タモン地区唯一のビーチ・バー「ザ・ビーチ」レストラン&バー。「リナラ」グアム ビーチ & カルチャー パークに隣接しており、昼も夜も、チャモロテイストの料理やトロピカルカクテルなど、南の島らしい美

味しい料理が楽しめるグルメスポットだ。

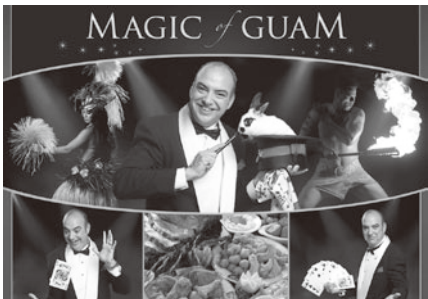
右に恋人岬、左にタモン湾を望む絶好のロケーションは、グアム最高のビューポイントとして地元からの人気も高く、ここから眺める美しいサンセットは必見。週末を中心にバンドなどの生演奏が入り、サンセットを眺めながらリラックスできるひとときが味わえる。営業は深夜2時(料理は22時)まで。ディナーやカクテルを楽しみながら、タモン湾沿いのホテルの灯りと満点の星空の下、静かな波の音をBGMにグアムの素敵な夜を楽しみたい。



またパーティエリアも用意。約200名が収容できるので、ビーチパーティーやコンサート、ウェディングの後のパーティーなど、各種問い合わせにも応じている。

マジック・オブ・グアム

ここだけの「マジック+アイランドショー」 あらゆるマーケットに対応



今年4月にスタートした「マジック・オブ・グアム」は、マジックとアイランドショーがひとつになったグアムで唯一のユニークなショー。会場は、グアムリーフホテル&オリブスパ内の新会場(パダナス・パビリオン)で、屋内でアイランドショーが楽しめるのは、グアムではこのショーだけ。食事はビュッフェスタイルで、20種類以上のメニューが食べ放題。小さな子ども連れのファミリーを

はじめ、あらゆるマーケットに対応しており、カジュアルにグアムの夜を楽しむことができる。

軽快なテンポに合わせ、ステージ上でマジックを繰り広げるのは、グアムでのマジックショーの経験が豊富なハंक・ライス氏。日本語と英語を巧みに使い分けながら、ステージと観客が一体になったショーは常に笑いが絶えない。続くアイランドショーも、人気のファイヤーダンスなどを交えた本格的でエキサイティングな内容。思わず時間が経つのを忘れてしまう新感覚のショーだ。

会場は150名収容可能。グループの貸



し切りにも対応しているので、打ち上げパーティーや報奨旅行の表彰式、パーティーの二次会など、MICE利用にも最適だ。

グアム諸先輩方のメッセージ



Baba Corporation

(ババコーポレーション)

会長
馬場 明 氏

Company profile

アトランティスサブマリン／ココパームガーデンビーチ／
ニッポンレンタカー／バーガーキング／
Nanyo不動産の運営

1968年、日本からまだパンナムのフライトしかなかった時代、法人を設立し音響製品や陶磁器などの輸入小売販売事業を開始しました。その後1970年の日本航空のグアム線就航に合わせてニッポンレンタカーを始めたことで、観光関連業界の知己を得て、その後バス会社、免税店、卸売業などを展開して参りました。当時は日本人観光客のいない、まさに未開の島という印象でした。

1968年のフジタ・タモンビーチホテル、また1969年の東急ホテル開業は、観光地グアム島の幕開けを予感する時でもありました。その後日本航空が東

京⇄グアム線に続いて、大阪⇄グアム線の運航を開始し、グアム第一ホテル、ヒルトン、ホテルオークラとホテルの開業が相次ぎ、グアムの観光マーケットは拡大していきました。

50周年を迎えたグアム政府観光局と共に、今後も事業活動を行っていききたいと思っています。また日本人マーケットだけでなく、韓国人、中国人、ロシア人マーケットも合わせて取り込むことが重要であると考えております。グアムのさらなる発展には、ホテルなど、インフラの整備も不可欠ではないでしょうか。



Alupang Beach Club

(アルバンビーチクラブ)

オーナー&プレジデント
Steven Kasperbauer 氏

Company profile

グアムで最も人気のあるマリンスポーツアトラクション。ドルフィンウォッチングやシュノーケル、パラセーリングやバナボートなど、エキサイティングでお手頃なアクティビティをアガニア湾の便利なロケーションで提供。ピンクの送迎バスとフレンドリーなスタッフも有名で、あらゆる層のリピーターに好評

観光業に従事したのは、ウインド・ジャマー・サンセット・クルーズで働き始めた1983年から。その後1986年にアルバンビーチクラブを始めました。当時のタモン地区には、ハワイアンルックのハネムーン、DFSや白牡丹ストアで買い物を楽しむOLがたくさんいました。信号はまだなく、ホテルはわずか9軒を数えるだけ。日本人観光客はファーストタイマーが多く、ほとんど英語ができなかったため、ホテルやオプションルツァーのスタッフは、わずかな日本語を話しました。またこの頃は、新しいホテルやゴルフ場、オプションルツァーのアトラクションが一気に誕生したエキサイ

ティングな時代でした。1980年代の日本のバブル経済の頃は、グアムですべてのことができると誰もが信じていました。

2020年に向けての課題は、日本の高齢化への対応です。熟年層を中心にリピーターを増やすためには、歴史や自然、文化など、教育的な体験を強く打ち出していく必要があります。また米海兵隊が沖縄からグアムへ移転することで、新たな仕事が生れます。旅行業界はスタッフ確保のため、給料を上げる必要が出てくるでしょう。これがパッケージ料金の値上げにつながり、グアムが高価なデスティネーションとなることが懸念されます。



PMT Guam Corporation

(PMTグアム)

副支店長
秋上 利夫 氏

Company profile

ルックJTBやパッケージ、団体・グループでの来島者に、より「値打ちのある価格」で「楽しい」旅行を過ごせるよう企画立案、斡旋。旅行企画手配、空港斡旋、オプションルツァー販売、レストラン案内等

1976年にグアム島を襲ったパメラ台風の直後に、初めてグアムの地を踏みました。現在のマリスコウドライブもまだ片側1車線で、ピザハット(現マイクロネシアモール)辺りから凸凹道となり、ジーゴにある遊園地のローラーコースターでデートするのも一苦労したものです。タモンのホテルも、まだジャングルの中に点々と建っていた状態で、私はこの緑の多いグアムをたいそう気に入っていました。

その頃の観光客の主流は新婚さん。全員参加の島内観光でおそろいのプリントのムームとアロハシャツを購入し、夜のデラックスディナーを食べ、パイナッ

ブルにストローを2本差したドリンクを仲良く一緒に飲み、記念写真におさまるといった具合でした。

日本で人気の高いグアムは、リピーターも増えていますが、海外旅行の初体験として選んでいただきたいのも、やはりグアムです。この南洋の美しい島は、更に価値や魅力を増すことのできる、さまざまな素材が、海・自然・施設・イベントなどにまだまだ埋もれています。私たちの会社は、あらゆるお客様に、楽しく安全に目一杯楽しめるグアムであり続けるため、グアムの観光地としての価値を上げ続けるため、引き続きお客様のニーズに応え、サービスを提供して参ります。



Baldyga Group

(バルディガ・グループ)

営業統括本部長
後藤 智幸 氏

Company profile

1990年のサンドキャッスル・ディナーシアターのオープンを始めとし、ディナークルーズ、チャモロのカルチャーパーク、リゾートタイプのビーチバーなど、クオリティが高く、且つグアムに欠かせないユニークな施設・アトラクションを展開・運営

1987年、当時所属する日本の会社がグアムにホテルをオープンしたのがグアムにきたきっかけでした。当時はタモンもホテルが点在しており、ホテルロードも片側1車線、ビーチの反対側はほとんどジャングルという状態。正直「海はきれいだけど、さみしいところ」という印象が強かったです。

1980年代は、島全体の総客室数も3000室ほど。サンドキャッスルがオープンして正式にグアムに赴任したのが1991年で、これから2000年までがグアムにとっては大きな変革期であったと思います。次々と世界ブランドのホテルがオープンし、日本からのフライトも倍増。客層もパッケージ旅行に加え、団体マーケットが大きく伸びた時期

でもあります。

元々日本人、日本企業が中心となり開発・発展してきたグアムですが、2010年代は、旅行者の国籍、旅行目的もより多様化する方向に動いていると思われます。グアムがより円熟したリゾート地として発展するためにも、また来島者数の拡大のためにも「クオリティの向上」を、弊社の最重要テーマとして考えております。「日本から近い」というのは常にグアムの強みであり、施設、サービス、インフラのクオリティを向上することで、グアムのツーリズムのポテンシャルが一気に拡張されると考えられます。今後もユニークで満足度の高いツアーを提供していくことが目標です。



City Hill Company(Guam), Ltd.

(シティヒルカンパニー)

オーナー、社長
Eric Ichioaka 氏

Company profile

会社の柱となるグアムプラザホテルとJPスーパーストアは今年で30周年を迎える。ナナスカフェ、ジャ アジアンビストロ、セイルズBBQ など、バラエティー豊かなレストランを展開するほか、ターザーウォーターパークなど多彩な施設を展開。

私が初めてグアムに来た1980年初頭は、ホテルもまだ数少なく、未開発のビーチリゾートとの感がありました。それまで住んでいた日本の都会と比べ、手付かずの自然の豊かさに感動を受けたのを覚えています。同時に、米国領でありながら当時は旅行者といえればほとんどすべて日本人であることに不思議な気がしました。当時は今ほどのショッピングオプションがあるわけではなく、いわゆる免税店が日本人で溢れかえっていましたね。

グアムのすばらしいところは、なんとと言ってもローカルの人たちがとても気さくでフレンドリーであること。独

特の習慣や食生活に驚いたものの、フィエスタのように見知らぬ人も大歓迎してくれるオープンさは、グアムならではでしょう。

グアムはこれまで観光デスティネーションとして独特のスタイルを確立してきたと思います。ただ、来島者の数から鑑みて、今後もっと多様な選択肢を提供できる幅のあるリゾートとして発展していけるのではないかと思います。弊社としてはグアムが観光地としての更なる成長に貢献できるよう、これからも弊社独自の提案をし続けていくつもりです。



Hyatt Regency Guam

(ハイアットリージェンシー グアム)

Executive Assistant Manager - Sales & Marketing
Sophia Chu 氏

Company profile

タモン湾の中心に建つグアムで最上級のリゾートホテル。海を臨む450室の客室、6つのレストランとバー、3つのプール、テニス場、フィットネスセンター、スパ施設などを有し、グアムでの忘れられない滞在を約束する。

グアムのホスピタリティ業界で仕事を始めたのは1992年。この年は、前年に湾岸戦争が終結し、観光客が戻り始めた矢先、台風が相次いで襲来し、特にオマー台風はグアムに甚大な被害を与えました。日本からの訪問者数にも大きな影響が出ましたが、グアム政府観光局は日本マーケットに対し、ポジティブなメッセージを伝え続け、数多くのキャンペーンを積極的に展開し、業界だけでなくグアムの人たちが丸となってグアムに観光客を招き入れようとする「グアムの底力」を感じることができた年でもあります。

来島者数を伸ばす点で、グアム政府観

光局と目標は一緒です。観光局へのサポートだけでなく、業界パートナーとの関係強化も重要。フレンドリーなスタッフ、さまざまなゲストのニーズにマッチする最新のリゾート施設、ワールドクラスの料理など、ホテルとして常に期待以上のベストな顧客サービスを提供できるよう努力することは、リピーターを生み出すだけでなく、良いクチコミももたらしてくれます。今年の10月に当ホテルは、開業20周年を迎えます。ファミリーからウェディング、ハネムーン、MICEまで、あらゆるゲストに対して、記憶に残る滞在を提供できるように努めていきたいと考えております。

ハファデイ・グアム・スタディ・ツアー 今年で20回目、全国9都市から91名が参加

グアム政府観光局(GVB)が実施している旅行会社関係者向け研修プログラム「ハファデイ・グアム・スタディ・ツアー」が今年で20回目を迎えた。ユナイテッド航空の直行便を利用し、全国9都市(札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡)から合計91名がグアムを訪れ、ホテルやチャペルを視察した。【取材・文・写真＝須藤太嗣、取材協力＝グアム政府観光局／ユナイテッド航空】

各ホテルMICEの受入体勢

MICEの目的地として存在感を高めるグアム。各ホテルが大規模団体に対応可能な施設を備えているほか、顧客のニーズに応じ柔軟なアレンジができることを売りとしている。今回のプログラムでは、ハイアット リージェンシー グアム、シェラトン・ラグーナ・グアム・リゾート、ホリデイリゾート & スパグアム、ヒルトン・グアム・リゾート&スパ、オンワードビーチ リゾート、PICグアム、ウェスティン リゾート グアム、ホテル・ニッコー・グアム、アウトリガー・グアム・リゾート、レオパレスリゾート・グアム、リーフホテル、アルバン・ビーチ・クラブ(順不同)を視察した。



ホテル・ニッコー・グアムは全室がオーシャンフロント。東京ドームとほぼ同じ広さを持つ中庭では1500名まで収容可能で、トロピカルな雰囲気の中でガーデンパーティーが楽しめる。目の前でシェフが炭火で焼くバーベキューも人気という。

視察当日はバンケットルームで披露宴が。薄いピンクの照明で華やかさを演出



ハイアット リージェンシー グアムのバンケットルームでは、ホテルオリジナルのテーマパーティーが可能であるほか、ウッドデッキのパーティースペース「シーサイドデッキ」での、タモン湾に沈む夕陽を眺めながらのパーティーも好評。今回のウェルカムディナーもシーサイドデッキで行われた。

シーサイドデッキ



ウェスティン リゾート グアムはビーチでのパーティーのほか、最新の映像・音響機器を活用したテーマパーティーやチームビルディングなど、ユニークな企画を提案する。視察当日は、宴会場を南欧テイストの演出で彩った。

視察当日の宴会場の様子。企画力・演出力が強み、とホテル担当者は語る



シェラトン・ラグーナ・グアム・リゾートのバンケットルーム「オーシャンセレナボールルーム」は最大600名着席可能で、パノラマスクリーンも完備している。今回のセミナー&ワークショップも同ホテルで行われた。

ボールルームでのワークショップの様子



レオパレスリゾート・グアムは、サッカーグラウンドや野球場、最新鋭のトレーニング施設などを完備している。各国代表のスポーツ選手らも合宿で頻繁に利用する。バンケットルームは最大800人を収容可能。

800人収容可能なバンケットルーム

グアムならではの観光素材 チームビルディングにも最適

企業のインセンティブ旅行などに今や欠かせないのがチームビルディング。グアムならではのアクティビティを日程に組み込めば、特別な体験を提供できる。



「タートルツアー」が実施している「エコアドベンチャー・ジャングル・ハイキング・ツアー」では、日本語ガイドと共に、島内のジャングルを散策する。川の中を歩いたり、傾斜のきつい箇所などもあり、歩いているうちに自然に参加者同士で交流が生まれる。これまで最大で90名程度の団体にも対応した経験があるという。コースにより太平洋戦争についてのレクチャーを受けられる機会もあるため、教育旅行にもお勧めだ。

密林の中をガイドの解説のもと散策する



アルバン・ビーチ・クラブ(ABC)では、ジェットスキーなど様々なビーチアクティビティが楽しめる。最大1000名収容可能な砂浜では、パーティーのほか、面積を活かした綱引き大会などのチームビルディングも可能だ。

1000名規模が収容可能なビーチ



ココス アイランド リゾートでは、海底散策アドベンチャー「シーウォーカー」をはじめ、様々なマリン・アクティビティが楽しめる。島内では、ココス島でのみ人工繁殖に成功した飛べない鳥「ココバード」ともふれあえる。教育旅行の素材として活かしたい。

ココバード



チームビルディングとは異なるが、団体に喜ばれそうなのが、土日のみ開催されるデデの朝市。日用品や果物などのほか、様々な食べ物を提供する屋台が建ち並ぶ。日の出から朝9時くらいまで開かれているため、朝ご飯をここでとるのもおもしろい。タモン地区から約15分という好立地。各ホテルからシャトルバスも出ている。

朝市の様子。食べ歩きも楽しい

懐かしのあの頃……。

グアム商品のパンフレットを見る

グアム政府観光局(GVB)が誕生して今年で50年。日本とグアムの観光交流の歴史も40年以上を数える。グアムへのパッケージツアーが発売された当初の各旅行会社のグアム商品パンフレットを見ると、当時いかに海外旅行が特別なものだったことがよく分かる。また美しいイメージショットやイラストを使い、グアムの魅力を紹介するこだわりの内容は、今だからこそ、新鮮な印象を与えてくれるだろう。

(参考) 1967年当時の大学初任給は2万円



ジャルパック(1970年)

旅行代金は、3日間7万2000円、4日間7万7000円から(東京／大阪発)。ファーストクラス、ホテルのスイートルーム利用のデラックスプランは、4日間13万7000円、5日間14万8000円(東京／大阪発)となる。ちなみにジョニー・ウォーカー黒も付く。+サイパン(6日間12万2000円)、+ヤップ(8日間16万5000円)も。島のイラストは、今の時代に紹介しても全く遜色はない。



JTBワールドバケーションズ(1973年)

旅行代金は、観光付きで3日間7万8000円(東京発)、4日間8万4000円(東京／大阪発)。デラックスプランは、3日間9万円(東京発)、4日間9万9000円(東京／大阪発)。5日間、6日間のツアーやサイパン(5日間11万9000円)、サイパンとパラオ(7日間19万5000円)を組み合わせたプランも。イメージショットをふんだんに使って、旅程を紹介する贅沢な紙面。

現地資本の独立系 ランドオペレーター誕生 長年の信頼と実績を活かしミクロネシアでビジネス展開

昨年1月に新しくランドオペレーター事業を開始し、今年4月からは日本市場へもビジネスを拡大したクロッペンバーク・エンタープライズ。今年10月1日からは「パシフィック・アイランド・ホリデーズ (Pacific Island Holidays LLC.)」という新会社で事業を展開していく。同社は、グアムで長年にわたってオブショナルツアーと送迎サービスを手がけるタートルツアーも運営。ランドオペレーション事業でも現地資本の会社としてグアムに精通した先鋭を集め、日本市場での手配に力を入れていく。

パシフィック・アイランド・ホリデーズ誕生 現地に精通した精鋭集団

クロッペンバーク・エンタープライズは2012年1月に、グアムへのロシア人旅行者に対するビザ免除措置を受けて、まずロシア市場向けにランドオペレーション事業を開始した。その後、今年4月からはグアムにとって最大のマーケットである日本へもビジネスを拡大、10月には新たにパシフィック・アイランド・ホリデーズとして本格的に事業を展開していく。



新規事業立ち上げの背景にはグアムにおける昨今のランドオペレーション事情がある。グアムでは日系ホールセラーの支店あるいは子会社がランドを手配するケースが大半を占めている現状で、グアムへの日本人訪問者数の底上げを図るためには、独立系のランドオペレーターが必要という声が多く上がっていたためだ。すでにFIT市場では日本の旅行会社数社と契約を結んでいるほか、新たな手配に向けて継続的に交渉が続いている。

事業立ち上げから約1年半で、ロシアや日本をはじめフィリピンでもビジネスを展開。今後は、グアムへの渡航者が急増している中国や香港へもランドオペレーション事業を拡大していく考えだ。

目標はグアムで最大の 独立系ランドオペレーター

日本はグアムにとって成熟したマーケットであり、ホテルや航空座席の供給量には限りがあるものの、同社では日本市場のポテンシャルはまだ高いと見ている。今年上半期の日本人訪問者数を見ると、前年同期比0.1%減の444,934人とはほぼ横ばいだが、東北や九州など地方からの訪問者数が伸びており、新たな市場開拓に可能性が見られる結果となっている。初年度の目標を月間200から300名、年間で最大4,000名ほどに設定。2年目以降は独立系ランドオペレーターを求めるニーズに応えることで、さらに上積みを図っていく。

長年にわたってグアムでビジネスを展開してきた同社は地元企業とのつながりも深い。クロッペンバーク・エンタープライズ社長のブルース・クロッペンバーク氏は「そのメリットを生かし、さまざまなパートナーシップによって、魅力的なレートを生み出す日本の旅行会社に提案することができる」と自信を示す。

日本市場でのランドオペレーション事業拡大に向けて、「大切なことはベストを尽くすこと。我々が提供するサービスを喜んで頂けるように最善を尽くしていく」とクロッペンバーク氏。「将来的にグア



ムで最大の独立系ランドオペレーターになる」という大きなビジョンを掲げている。マーケットの活性化、日本人訪問者数の底上げのためにも、パシフィック・アイランド・ホリデーズへの期待は大きい。

45年の信頼と実績 独自サービス展開

ランドオペレーターとして新規参入した同社だが、タートルツアーとしては

グアムですでに45年の経験がある。タロフォフォ川を遊覧船で進む「アドベンチャー・リバークルーズ」、野生のイルカを観察する「イルカウォッチング・アドベンチャー」、洞窟探検や川歩きなどが楽しめる「エコアドベンチャー・ジャングルハイキング」、グアムの観光スポットを巡る「定期市内観光」などを提供しており、そのユニークなプログラムは日本人観光客のあいだでも人気が高い。

同社としても、オブショナルツアーでの信頼と実績をランドオペレーション事

業にも活かしていく考え。クロッペンバーク氏も「それは大きなアドバンテージ」と話し、オブショナルツアーとランドオペレーションとの相乗効果に期待をかける。

送迎サービスでは現在、バンタイプから大型までバス80台を所有。ランドオペレーションでもそのバスを最大限利用してサービスを提供していく。また、同社には現在7名の日本語ガイドが在籍するが、今後日本市場の拡大に合わせて増員していく方針だ。

本当のグアムを知っていただくために。



グアム現地の資本による 新しいランドオペレーター、誕生。

グアムを知り尽くしたスタッフが新鮮な情報をご提供。
お客様のご要望にあわせオーダーメイドの旅行企画をご提案します。

創業43年のバス会社がサポート。
送迎を含めスムーズな手配をお約束します。

旅行企画から具体的なお見積もりなど、
お気軽にご相談ください

パシフィック・アイランド・ホリデーズ

Pacific Island Holidays LLC

(671)649-1942 keisales@keiguam.com

ディナーショーがスケールアップし音響・照明も大迫力に 客室はスイートを含む全室の改装を完了



新しくなった「アンフィ・シアター」



太平洋の島々の伝統的なダンス



ファイヤーナイフショー

広大な敷地に、777室の客室とアクティビティたっぷりのウォーターパークを持つグアム最大級のリゾート「PICグアム」。この7月にはディナーショー会場の「アンフィ・シアター」もスケールアップして生まれ変わった。すでに全客室の改装を終え、宿泊客は新しいPICグアムの魅力を満喫できる。

アンフィ・シアターの 収容力は3割増

PICグアムの人気施設のひとつ「アンフィ・シアター」。ウォーターパーク内のラグーンの中に浮かぶようにして設けられた屋外ステージで繰り広げられるショーを、客席から鑑賞するエンターテインメント施設で、夜の心地よい潮風を感じながら楽しめるのが特徴だ。カップルからファミリーまで幅広い人気を博している。

このアンフィ・シアターの改装工事が7月に完了。規模を拡大し、最新のディナーショー会場としてお目見えした。

改装前と比較してステージ面積は約1.5倍に広がり、より迫力あるステージパフォーマンスが可能になった。また座席も増席。収容力は改装前の450席から600席に約3割以上増えた。

パフォーマンスの内容を刷新 最新のステージ技術も導入

規模が拡大しただけでなく関連設備も最新のステージ技術が導入され、音響設備を一新し、臨場感あふれる音響空間を実現している。照明に関しても、ステージ上をより明るく照らし出す内容に変更したうえで、照明効果にレーザー光線も取り入れて進化している。また白煙を噴霧する仕掛けも施し、ステージ演出効果もパワーアップしている。

これらの施設・設備の拡張・改良に合わせてショーの内容の見直しも行った。ダンスの内容から衣装まですべてを一新し、まったく新しくショーを構成。太平洋の島々に伝わる伝統的な踊りをフィーチャーした壮大なエンターテインメントという基本構成は変わらないが、ステージ上で繰り広げられる一つひとつのパフォーマンスの内容を刷新した。

ディナーショーの食事内容も、グアムらしいチャモロ風料理のビュッフェスタイルという基本スタイルはそのままに、料理のラインナップを充実させている。

全客室の改装を完了

PICグアムは昨年度中に客室のほとんどの改装を完了していたが、このほど、残っていたスイートルーム（ロイヤルクラブ・デラックス・スイートとロイヤルクラブ・スイート）12室の改装も完了し、これですべての客室が一新された。

昨年からの改装では、室内設備のグレードアップと内装のリフレッシュが図られ、快適度が一段と向上。すべての客室に液晶テレビが設置されたほか、客室

内のフロアをすべてタイル張りにした。ウォーターパークやビーチからそのまま部屋へ戻ることの多いPICならではの配慮で、利用者から好評を博している。

上位カテゴリーの客室には、ウォシュレットも設置した。日本の家庭の約7割に設置されているといわれる温水洗浄便座が海外旅行先でも整備されているのは嬉しいところ。スーペリアプラス以上のカテゴリーの客室すべてに設置されている。



ロイヤルクラブ・スイート



ロイヤルクラブ・デラックス・スイート

ロイヤルタワーの全客室には、新しくビデオコマンドシステムを導入。ゲストは、当日のアクティビティやレストランの情報、ウォーターパークのアクティビティの詳細など、客室内のテレビから情報を得ることができる。また、天気予報やフライト情報、グアムの観光スポットなどの情報にもアクセスが可能で、グアムでの滞在を効率的に過ごすための貴重なツールとして、ぜひ活用したい。

さらにロイヤルタワー全室に無料のWiFiを完備。ロイヤルタワーの宿泊客は簡単なログイン操作で客室でWiFiを使うことができる。尚、ロビーエリアでの無料WiFiは従来通り、誰でも利用できる。

キッズクラブの施設も拡充

ファミリー旅行者の多いPICグアムでは、子供連れに優しいリゾートを追求している。中心になるのはキッズクラブ。4歳から12歳の子供が対象で、参加者する子供にはクラブメイツが同伴し、プールやビーチでのアクティビティなどをサポート。親も子供を預けて自由な時間を過ごすことができる。またアクティビ



キッズクラブ

ティに参加しない子供のためには、子供たちが自由に遊べる安全なスペース（安全確保のためのマットやクッションを設備）を新たに用意。PICグアムのマスコット「シッキー」の名前にちなみ「シッキー・プレイハウス」として10:00~14:00と15:00~17:00の時間帯に開放している。

キッズクラブやシッキー・プレイハウスで子供を遊ばせれば、各国からの子供たちと触れ合うチャンスがある。

女性に人気のスパやヨガも充実

家族連れの母親や、女性宿泊客には、PICグアムのオリジナルブランド「JIIVANA SPA（ジバナ・スパ）」がおすすめ。自然治癒力や生命力を高める施術トリートメントを各種用意している。

リゾート敷地内に設けられたスパ専用棟には、美しい庭を囲む形で配置されたトリートメントルームが12部屋。このうちカップルルームが3部屋、フットバス専用部屋も1部屋あり、FIRサウナやジャグジーも併設している。

トリートメントは、指圧、アロマセラピー、呼吸法、深部組織療法などのさまざまなオリジナルメニューを用意。デトックスについてはアロマオイル入りのバスタブにつかり、発汗しながら徐々に老廃物を体外に排出する効果を実感できる。



ジバナ・スパ



「サムドラ・バビリオン」でのヨガレッスン

ヨガも人気だ。スパに隣接するヨガ専用施設の「サムドラ・バビリオン」は海の目の前にあり潮風を感じながらヨガを体験できる。専門のフィットネスインストラクターがヨガを指導し、PICグアムの宿泊客は無料でレッスンを受けられる。

ウォーターパークは アクティビティ満載

リゾートの敷地の多くを占めるのがウォーターパーク。プールだけでもメイ



クラブメイツ

ンプールやゲーム用プール、競技用プールがあり、ほかに2種類のウォータースライドや、敷地内の各エリアをつなぐラグーンがある。「泳げる水族館」は、カラフルなたくさんの熱帯魚が泳ぐ海水のプールで、その中をスノーケリングで魚と泳ぐアクティビティが人気を集めている。

ウォーターパークはプールなどの施設が整っているだけでなく、クラブメイツがインストラクター兼エンターテイナーとして各種アクティビティを提供している。またウォーターパークは夜9時半までオープンしているので、夕食や買い物から戻った後にも楽しむことができる。

グループ旅行ではウォーターパークをイベント会場として活用できる。たとえば50名以上のグループ用の無料プログラムが「PICウォーターオリムピック」。水上運動会として水上玉入れ、カヤック競争、水中綱引き、水中バレーボールなどを競いながらチームビルディング効果も期待できる。クラブメイツが司会を務め、各班にもクラブメイツがリーダーとして参加し進行を手伝い、イベントを盛り上げる。

文化体験プログラムも用意

PICグアムらしい体験プログラムも用意されている。ウォーターパーク内のカルチャーアクティビティセンター「グマチャモロ」では、水牛(カラバオ)が引くカートの試乗体験やヤシの葉編み教室、ココナツジュース試飲、ココナツキャンディー作り、チャモロ投網体験、チャモロ語教室など文化体験のチャンスを提供している。

またグアムが日本に一番近いアメリカであることを実感しつつ、子供の語学への関心を高めることができる英語体験プログラムも用意している。これは「レッツ・スピーク・イングリッシュ」プログラムで、“Let's speak English”のバッジを付けた参加者に対して、リゾート内のスタッフ、インストラクター、クラブメイツなどが英語で積極的に話しかけるといふもの。フレンドリーなスタッフを相手に、自然な形で英会話を実践できるのが特徴だ。

PICは遊びきれないほどのアクティビティを詰め込んだよ巨大なスポーツリゾート。ウォーターパークには、スライダーをはじめ、「泳げる水族館」やシッキースプラッシュプールなど数々のプール、ビーチでは、ウインドサーフィンやアウトリガーカヌー、シュノーケルなど、グアムの太陽を満喫できるアクティビティを満載。もちろんスカッシュやトランポリン、アーチェリーなどスポーツ三昧もOK。宿泊のお客様はこれらの施設内のスポーツ&アクティビティが全て無料でご利用になれます。もちろん、遊びの達人クラブメイツが、アクティビティも、スポーツも、レッスンも、皆様の休日を最高に陽気に楽しく盛り上げます。

PICは遊びの ハッピーワンダーランド



ディナーショーが新しくなりました!!



パシフィック・アイランド・クラブ・グアム

P.O.Box 9370, Tamuning, Guam 96931 U.S.A.
Phone: (671) 646-9171 / FAX: (671) 648-2474

日本のお問い合わせ先
〒106-0031 東京都港区西麻布1-2-7-7F
Phone: (03)5413-5934

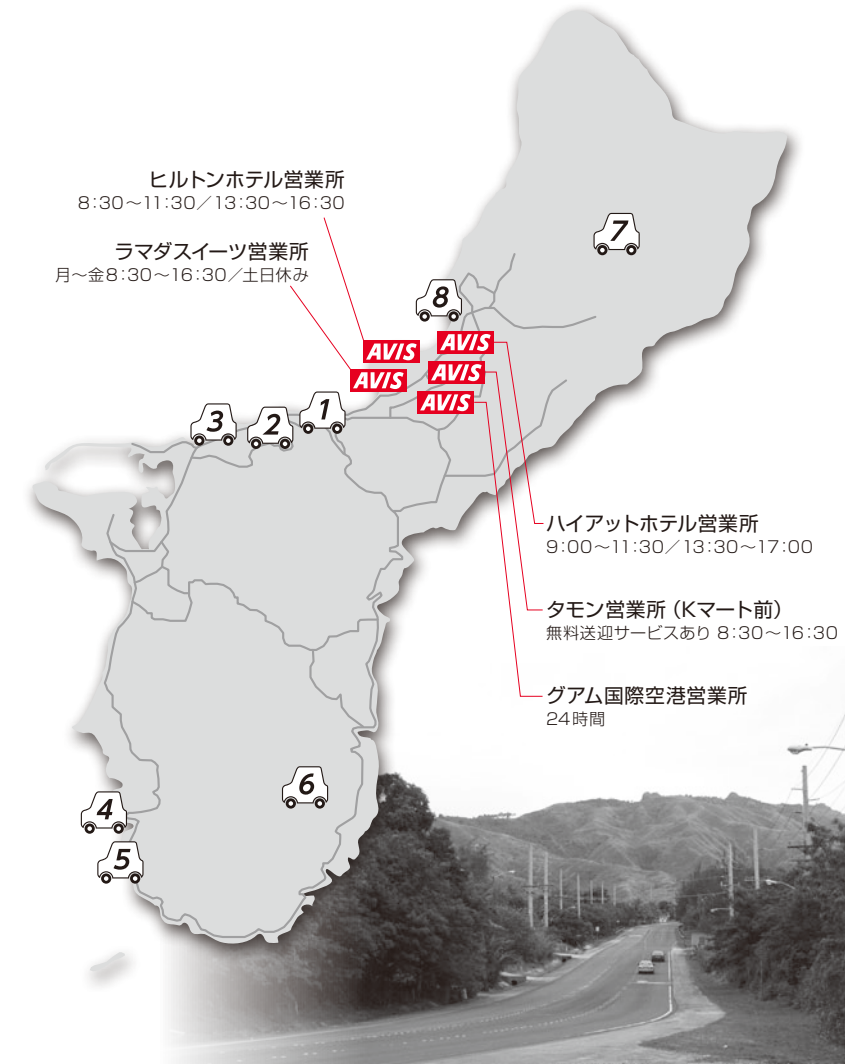
www.picresorts.jp

PICのマスコット
「ピツギー」



グアムの歴史を巡るドライブコース

今年設立50周年を迎えたグアム政府観光局。現在観光客の多くが滞在するエリアは、その50年の歴史の中でつくられたものがほとんどだ。しかし、アメリカ合衆国に属しながら、その文化や風俗には、300年以上続いたスペイン統治時代の影響が色濃く残る。そんなグアムの歴史を紐解くポイントに立ち寄りながら、島をレンタカーでぐるっとひとまわりして、いつもと違うグアムの魅力にふれてみては。



グアムの歴史とは？

①紀元前～1500年 古代チャモロ時代

グアムの先住民は、チャモロ人と呼ばれる人々。その起源については、考古学、人類学、歴史学のいずれにおいても、謎に包まれている。紀元前1500年頃の資料からは、古代チャモロ人は東南アジアの諸島から移住してきた民族であると推測される説もある。

②1500年～ スペイン統治時代

世界一周の航海の途にあったマゼランがグアム島を発見し、ウマタックに上陸したのが、1521年3月6日のこと。その後1565年から、333年にも及ぶスペインの統治時代が始まった。

③1898年～ アメリカ時代

1898年スペイン軍によるアメリカ戦艦の撃墜をきっかけに米西戦争が勃発。同年アメリカによって占領された。1941年に、日本は太平洋戦争勃発を機にグアムを占領、31ヶ月間にわたり日本の占領下となった。その後、1944年に再びアメリカの統治下に入り、1950年にはアメリカの自治属領(準州)となった。

1 ラッテストーン公園 【古代チャモロ時代】



現在でも多くの謎が残された「ラッテストーン」。太平洋の先史時代に作られたとされており、公園には、こけしのような形をした高さ1.5～2メートルの石柱が並ぶ。宗教的な意味合いを持つとも、高床式建物の土台とも言われている。

2 スペイン広場(聖母マリア大聖堂) 【スペイン統治時代】



現在の政治と経済の中心、ハガニアにある広場で、かつてスペインの総督邸があったところ。総督邸跡をはじめ、総督夫人がチョコレートドリンクを客人にふるまっていたことに由来したチョコレート・ハウス、聖母マリア大聖堂など、見どころがたくさん。

3 太平洋戦争国立歴史公園 【アメリカ時代】



太平洋戦争末期に繰り広げられた、アメリカ軍と日本軍との間での激しい戦闘。その歴史を後世に伝えるべく整備された、グアムで唯一の国立公園。「T.ステル・ニューマン ビジターセンター」には、アメリカ側から見た太平洋戦争について学べる展示施設がある。

4 マゼラン記念碑 【スペイン統治時代】



1521年3月6日、ポルトガルの探検家マゼランが、世界一周航海中にグアムに初めて上陸したことを記念した場所。約4メートルの石碑は、1926年に建設されたもの。グアムの歴史を学ぶ上で欠かせない場所だ。

5 ソレダット砦 【スペイン統治時代】



スペイン統治時代に、交易船を海賊から守るために築かれた砦の跡で、修復され現在に残る。眼下には、静かな入江とウマタック村ののんびりとした穏やかな景色が広がる。

6 タロフォフォの滝&横井ケーブ 【アメリカ時代】



タロフォフォ川の支流にある3段の滝で、グアム最大の滝。この場所から15分程のところ、元日本兵、横井庄一さんが、28年間にわたって潜伏生活を送っていたといわれる洞穴の一つを再現したレプリカがある。

7 平和慰霊記念公園 【アメリカ時代】



太平洋戦争時、日米の激戦地となったジーゴ。旧日本軍兵士の霊を祀る高さ15メートルの慰霊塔や遺品などが展示された「平和を祈る家」、当時の防空壕などが残っており、平和学習の一環として欠かせない場所。

8 「リナラ」グアムビーチ&カルチャーパーク 【古代チャモロ時代】



グアムの歴史や文化、自然について学べるカルチャーテーマパーク。チャモロ文化のスタイルを忠実に再現し、当時の家や服装、ダンスや料理、ハンディクラフトなどが体験できる古代チャモロビレッジなど、古代チャモロ時代の伝統文化を体験できる。

大切なお客様にお好みのドライブコースを紹介してみてもいいかがでしょうか？

エイビスレンタカー

予約センター: 0120-31-1911 www.avis-japan.com



人気ショップ続々オープン、フードもさらに充実 1日中楽しめるエンターテイメント・アウトレット

グアム・プレミア・アウトレット(GPO)はグアムで唯一のアウトレットショッピングモール。75以上の店舗が入り、世界的に有名なブランドをアウトレット価格で提供している。タモン地区からは車で5分のタムニング地区にあり、ロケーションも抜群。フードコートやレストランも充実しているほか、3D対応を含む14のスクリーンを備えるシネマ・コンプレックスもあり、1日中楽しめる場所だ。新たなテナントも加わり、さらにパワーアップ。ますますGPOから目が離せない。

人気ブランドが新たに登場 コールドストーンも新規オープン

GPOには今年新たに「トミー・バハマ」と「トミー・ヒルフィガー」のアウトレットストアが加わる。トミー・バハマは今年9月初旬、トミー・ヒルフィガーは11月にそれぞれオープン予定だ。いずれも世界的にも人気のアパレルブランドだけに、そのアウトレット価格には注目が集まりそうだ。

新たなラインアップが加わることによって、数店舗が移動することになる。まず、トミー・ヒルフィガー向けに広いスペースを確保するために、金やプラチナなどの幅広いジュエリーを扱う「ビタミン・ワールド」の隣に移動する。このほか、ハワイアン・ジュエリーとスターリング・シルバー・ジュエリーの専門店「マウイ・ジュエリー」がキオスク・スペースに移る。

フードコートでは、チャモロ料理とフィリピン料理を提供する「マイ・クシナ」が今年はじめにオープン。新たにグアムのローカルフードの味が楽しめるようになった。また、7月15日には、「コールドストーン・ヨーグルトバー」もオープン。好みのヨーグルトやトッピングを自由に選べるセルフスタイルのヨーグルトバーが楽しめる。さらに、近くにはバラエティーに富んだシェイクやアイスクリームで人気の「コールドストーン・クリーマリー」もある。いずれも日本で評判のチェーン店。日本人旅行者に喜ばれそうだ。



「スイート16」プロモーション実施 11月29日にはクリスマスセール開始

今年オープン16周年を迎えるGPOでは、豪華賞品が当たる「スイート16」プロモーションを実施。スポンサーには、プレステージ・オートモービル、ユナイテッド航空、IP&E、IT&E、パラダイス・フィットネス・センター、シェラトン・ラゲーナ・グアム・リゾートが名を連ねる。賞品には、2013年型ミニクーパー、2人1組にアジア、ミクロネシアあるいはケアンズへの旅行、「パラダイス・フィットネス・センター」から1年間のメンバーシップ、4ヶ月間無料サービスの付いた

スマートフォンなどがあり、抽選会は10月26日に行われる。

同時に、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどのSNSを利用したプロモーションも展開している。フェイスブックでは、誕生日写真コンテストを実施。16作品まで絞り込み、毎週フォローアワーからの投票を受け付けている。誕生日写真優勝者には、チャックEチーズから子ども10名分の「スーパースター・バースデー・パッケージ」とコールドストーン・クリーマリーからアイスクリーム・バースデーケーキがプレゼントされる。また、投票者のなかから抽選で2名に映画無料券と10ドル相当のコールドストーン・ヨーグルトバー・ギフト券がある。

さらに、GPOのインスタグラム・ページでも週間コンテストを実施。GPOにあるショップの製品やサービスを写真に撮り、インスタグラムを通してフェイスブックにアップロードする。当選者には、



スポンサーのIP&Eから40ドル相当の無料ガソリン券が贈られる。

このほか、10月25日には今回で9回目を迎えるゴルフトーナメントも開催。収益金は、地域社会への貢献の一環としてグアム・ガールスカウトとPa'a Taotao Tanoカルチャー・クラブに寄付される。

11月29日には、「ブラック・フライデー」セールを皮切りにクリスマス商戦が始まる。豪華なデコレーションで飾られ、ギフトラッピングのブースも設置。サンタクロースとの写真コーナー、マジックショー、アイススケートリンクなども設けられ、GPOはクリスマス一色になる。

ラッキー

ほしいもの、み・つ・け・た。

『これまでのグアムとはちょっと違う新しい魅力いっぱいのGPO。旅の予定に必ず組み込んでください。GPOの充実したショップがアウトレットバリューを皆様にご提供致します。』

進化するキオスク 多彩に揃うお土産アイテム

キオスクでは、今年第4四半期には、「ガブズ・バッグス」と「テレワールド」の2つのショップが新たに加わる。ガブズ・バッグスは、ハンドメイドのイタリア製革製品を扱い、テレワールドは携帯電話やタブレット端末用のアクセサリを提供する。

GPOには多彩なキオスクがそろい、友人や家族へのお土産にぴったりのアイテムやショッピングの合間に楽しみたい軽食やスイーツも豊富にそろう。

- **ビアード・パバ**
シュークリームやモカ、マンゴー、ストロベリーなどのアイスクリーム
- **ボディーライン**
ハンドメイドの石鹸、バス&ボディーワークス、ヴィクトリア・シークレットのローション、香りつきおしぼり、ボディースプレーなど。
- **セルタズ・クリエイティブ・アーツ**
革製小物、ネイティブアメリカン・グッズなど。
- **シナボン**
シナモンロール&コーヒー
- **グアム・ナラ**
携帯電話ストラップやIDプレスレット
- **ミスター・サープラス**
ミリタリー用品
- **ピンク・ハウス**
ヘア・アクセサリ
- **シャイン・ア・スター**
ラインストーン・アクセサリ、クラッチバッグなど
- **スマイル・キャンドルズ**
手づくり装飾キャンドル
- **サンシャイン・アクセサリーズ**
ファッション・アクセサリ
- **バビー・ワールド**
ペット用品

Be You.

グアム・プレミア・アウトレット GPO



GPO Guam



GPO Guam



GPO Guam

Guam Premier Outlets — Mall Choices. Outlet Values.

671.647.4032 | Found in the heart of Tamuning | Open daily from 10am-9pm



ホテル街を經由しているトロリーバスや各種シャトルバスが便利で手軽です。バスは毎日9:00時から運行しています。

gpo Guam.com

大型団体、修学旅行の利用者から絶大な信頼 全コース\$80相当の「最強ビーチリゾート」付き

創業26周年を迎え、修学旅行や大型団体の利用がさらに増加しているアルパンビーチクラブ(ABC)。

アガニア湾の恵まれた海域内にある、グアムでは数少ないプライベートビーチをベースに、グアムの海を存分に楽しめるマリナクティビティを提供している。

主要ホテルから車でわずか10分とアクセスも抜群。2013年度から、全コースに\$80相当のビーチリゾートアクティビティ(最強ビーチリゾート)が含まれるなど、全パッケージの付加価値がグレードアップ。個人から大型団体まで、あらゆる客層が満足できる体制を整えている。

タモンエリアからわずか10分
安定した海域でいつでも安心

グアム最大級のマリンリゾート「ABC」。グアムの主要ホテルが並ぶタモンエリアから車でわずか10分。潮の満ち引きの影響がなく、年間を通して安定した海域にあるため、いつ訪れてもグアムの海の魅力を満喫できるのが特徴だ。深さ1~1.5mの遠浅の海が沖合まで続く、500mにもわたるプライベートビーチを完備している。

また無料の送迎バスが8~17時まで1時間おきに主要ホテルとABCの間を運行しているため、修学旅行やインセンティブといった大型団体でも、グアム滞在中の限られた時間の中で、日程を組みやすいのが特徴だ。

団体旅行も安心
全インストラクターが有資格者

ABCが団体旅行に人気の理由の一つは、充実したサポート体制。全てのビーチインストラクターがライフガードとファーストエイドの有資格者。さらにグ

アム警察のウォーターセーフティークラスを受講するなど、定期的なトレーニングによって専門知識も取得しているの、安全面が特に重要となる団体旅行や修学旅行には安心。ビーチには常時14~20名のスタッフが監視し、利用者の安全を見守っている。

また、アクティビティの選定でも、安全性の高い機種を厳選。例えば、パラセーリングでは安全性を重視して、二人乗り座席シートタイプを導入するなど、厳しい管理態勢のもと、定期点検を頻繁に行っている。



チームビルディングに最適
人気のイルカウォッチングも団体で

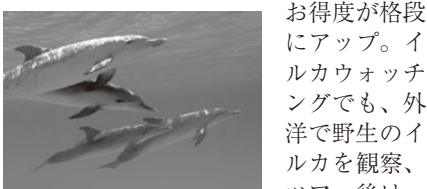
修学旅行やインセンティブの利用実績が豊富なABCでは、グループのニーズに応えた各種プログラムの相談に応じている。通常のアトラクションに加え、カヤックレースや綱引きなどのチームビルディングプログラムをはじめ、貸し切りのプライベートビーチパーティでは、1000名規模のグループにも対応。またスイカ割りや宝探しなどのゲーム、ボートのチャーター、夜のバーベキューディナーなど、オリジナルプランもある。



人気のイルカウォッチングも団体利用が可能。最大78名収容のクルーザーに加え、44名乗りと33名乗りのクルーザーも稼動しており、1日最大700名まで対応できる。この規模はグアムでもABCだけだ。

豊富なマリナクティビティ
「最強ビーチリゾート」付でお得度アップ

ABCでは、ジェットスキー、バナナボート、パラセーリングなどの豊富なアクティビティパッケージに、2013年度からはビーチステイ、ビーチアクティビティ、食べ放題ランチ、マイクロネシア・カルチャー・プログラム、ガイド付きシュノーケリングツアーなど、\$80相当のビーチリゾートアクティビティ(最強ビーチリゾート)が全ツアーに含まれ、



お得度が格段にアップ。イルカウォッチングでも、外洋で野生のイルカを観察、ツアー後は、オーシャン・シュノーケリングや底釣りに加え、このビーチリゾート体験が含まれる盛り沢山の内容が自慢。グアムでどこよりもお得なイルカウォッチングとして人気が高い。



アルパンビーチクラブ 総支配人

青木 一美

Tel: (671) 649-5200 Fax: (671) 646-7929

E-mail: kazu@abcgum.com

*詳細に関するご質問・ご相談は
上記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

団体旅行スケジュール例

たっぷり一日ABCスケジュール案

- 8:00 宿泊ホテル出発
- 8:15 ABC到着、チェックイン
- 8:25 ブリーフィング(オリエンテーション)、ロッカールームに荷物を預ける
- 8:30 希望したアクティビティを体験
(ジェットスキー、パラセーリング、バナナボート、イルカウォッチングなど)
- 11:15~15:30
ランチタイム
※好きな時間に利用可能
- 13:30 各自選んだアクティビティを体験
(ジェットスキー、パラセーリング、バナナボート、イルカウォッチングなど)
- 15:00 各種ビーチリゾートアクティビティ
- 16:00 ゲーム大会(綱引き、カヤックレース、ビーチバレーなど)
- 18:00 ABC出発
- 18:15 ホテル到着

グアムの歴史を学ぶ 「マゼランの秘宝」プログラム

修学旅行やグループ、\$100以上のパッケージに参加した旅行者に、アメリカ合衆国の歴代大統領の顔が刻まれた、希少な新1ドルコインをプレゼントする「マゼランの秘宝」プログラム。このプログラムは、今から約500年前、世界一周航海の途にあったマゼランがグアム島を発見し、ABCのあるアガニア湾に上陸した可能性があることにちなんで、グアムの歴史、さらには、マゼランの世界航海の歴史を知るきっかけとして、修学旅行の学習素材にも最適だ。



グアムの文化と自然を学ぶ 2つのプログラム

グアムの文化について学べる「マイクロネシア・カルチャー・プログラム」は、ココナッツの葉編みやココナッツ・キャンディー作りなど、グアムの古代チャモロの文化を体験学習できるもの。また「ガイド付きシュノーケリングエコツアー」では、グアムの海の世界が体験できる。ここでレクチャーをするのはグアムの歴史、自然、文化に精通した、「エコ先生」とABCのスタッフ。遊びながらグアムの自然や歴史について学習することができる質の高いプログラムだ。



企業のCSR、 修学旅行の学習素材に ボランティアリズム

ABCでは、自然環境保護のための植樹やビーチクリーニング、絶滅危惧動物の保護・観察、サンゴの生態観測などの海洋保護活動など、多岐に渡るボランティア体験ができる「ボランティアリズム」プログラムを提供している。

このプログラムは、各パッケージに追加して参加できるもので、参加者には、もれなく「ボランティアリズムTシャツ」と「海外ボランティア証明書」が付く(所要2~3時間。参加料金1人30ドル。「ボランティアリズム」参加費の一部は、環境保護団体に寄付)。



このような社会貢献活動は、修学旅行の学習素材として活用できるほか、企業団体にとっても、CSR(企業の社会的責任)の重要性が求められる中、インセンティブやチームビルディングの素材に最適。ABCでは、環境破壊への問題提起ができる場として、プログラムを立ち上げ、グアムの豊かな自然を守るという啓蒙活動の一環として、このプログラムを継続している。

好評につき本年度も継続!!		\$100以上のパッケージに 1ドルコインプレゼント!!		ご参加の方に		大人		子供(6~13才)	子供(2~5才)	幼児(0~1才)	ジェットスキー	パラセーリング	バナナボート	イルカウォッチング	イルカツアー	ディナー
アルパニア	1	最強ビーチリゾート	\$50	\$30	\$20	無料										
	2	バナナボート(14才以上) or ボート乗船	\$55													
	3	ジェットスキー(6才以上、6~13才はスタッフと同乗、独り乗りは14才以上)	\$55	\$40												
	4	パラセーリング(6才以上)	\$60	\$50												
	5	イルカ+バナナ+オーシャンシュノーケル	\$70	\$50	\$30	無料										
マイクロネシア	6	ジェット+バナナ	\$80	\$40	\$20											
	7	パラセーリング+バナナ	\$85	\$50	\$20											
	8	ジェット+パラ	\$105 \$95	\$50	\$20											
	9	ジェット+パラ+バナナ	\$120 \$110	\$50	\$20											
	10	イルカ+ジェット+バナナ+オーシャンシュノーケル	\$115	\$50	\$30	無料										
	11	イルカ+パラ+バナナ+オーシャンシュノーケル	\$120	\$50	\$30	無料										
	12	イルカ+ジェット+パラ+バナナ+オーシャンシュノーケル	\$160 \$150	\$50	\$30											

全コースに、最強ビーチリゾート付!

全コースに\$80相当のビーチステイ、アクティビティ、食べ放題ランチ、マイクロネシア・カルチャー・プログラム、ガイド付きシュノーケリングツアーが体験できる最強ビーチリゾート付!

ABC参加者だけの
オプション

\$75(大人) \$65(8~11才)で
シーウォーカー、
\$55(10才以上)で
体験ダイビングを
プラスできます!

※お子様が購入されるパッケージは保護者の方と同一の
パッケージに限り、※ジェットスキーにのみお子様(6~
13才)のご参加を希望される場合、天候が良好な日に限
り弊社スタッフのご参加いただけます。パラセーリングの
お子様(6~13才)のご参加を希望される場合、お子様の
身長が1m以上であり、保護者同伴のうえボートキャプ
テンの指導のもと、天候が良好な日に限り参加いただけ
ます。※妊娠中の方は、0ビーチリゾートのみにご参加
いただけます。※シーウォーカーは数に限りがあります。

おかげさまで26周年! 大感謝祭! 主要コース割引!



アルバンビーチクラブ

グアムのアクティビティ ABC!!

といえば...

ABCいつ
いくの〜?

500m続く白砂のビーチが
待っています!

今でしょ!

驚きのピックバリュー!!

イルカウォッチング
底釣りオーシャンシュノーケリング、
ビーチラング、なんとバナナボート
無料でセット。
※年齢制限なし
※バナナボートは14才以上

オフリー
ABC

座っても立っても
乗れるオリジナル仕様!!

ジェットスキー

一人一台保証!
島内最多の台数を保有。
安定感に優れた機種を採用。
※6才以上

オフリー
ABC

マゼランの秘宝
個人のお客様は
\$100以上の
パッケージに
ご参加の方に

修学旅行・
グループ(20名以上)で
ご参加の方には、
全員にプレゼント!!
希少な\$1コイン!
プレゼント!!

あなたも海外でボランティアに参加しませんか?

ボランティアリズム実施中!

ボランティアリズムTシャツ&
海外ボランティア証明書プレゼント!

ボランティアリズム

お一人様 6才以上

\$30

※所定のパッケージに、参加の方のみの追加パッケージとなります。
※参加費の一部は環境保護団体に寄付いたします。
※ボランティア活動内容は時期により異なります。

オフリー
ABC

パラセーリング

コーストガード認定のポート。
グアムで一番の安全を誇る。
三人乗りシート採用。
快適シートで360度の
視界を満喫。
※6才以上

**キッズバナナ
登場! \$20**

(6~13才)
※天候によっては催行されない
場合がございます。

安全性に優れた
12人乗り!!

オフリー
ABC

バナナボート

ABC専用にデザインされた
ツインチューブ。
安全性に優れた12人乗りで
海面滑走。
※14才以上

オフリー
ABC

エコ先生

エコ先生と一緒に遊びながら、
楽しく自然や歴史について学びましょう!

大小グループ 20名から700名まで、1日たっぷりお世話します。

**\$80相当のビーチリゾートが、
全ツアーにセット!!**

1~12までのオプションツアーが
対象となります。

ウォーターバイク ペダルボート ガイド付きシュノーケリングが
無料で付くのはABCだけ!!

カヤック

ガイド付きシュノーケリング

食べ放題ランチ

ビーチシューズ 浮き輪 ビーチチェア
ビーチバレーボール ビーチパラソル ロッカー
ストーンアート インスタントタトゥー コスチュームプレゼンテーション

**すべて
(\$80相当) 無料!**

他社を圧倒する 驚きのプライス!

12種類の多彩なパッケージをご用意しています。

超バリューイルカパック

イルカ + バナナ + オーシャンシュノーケル

大人 **\$70** 子供 **\$50** **\$30**
(6~13才) (2~5才)

3強マリンパック

ジェットスキー + パラセーリング + バナナボート

大人 **\$110** 子供 **\$50** **\$20**
(6~13才) (2~5才)

スーパーパック

イルカ + ジェットスキー + パラセーリング + バナナボート + オーシャンシュノーケル

大人 **\$150** 子供 **\$50** **\$30**
(6~13才) (2~5才)

お問い合わせ・お申し込みは各旅行会社 または 電話 649-5200
もしくは eメール kazu@abcgum.comまで

www.abcgum.com

土曜定休

ツアーの企画や
ご提案に
お役立て下さい!!

アルバンビーチクラブ公式Twitter (@abc_gum)、
Facebook (www.facebook.com/abcgumofficial)、
YouTube開設! YouTubeではABCの動画をオンエア中!

f t
YouTube



ウエディング形態の変化に合わせ進化し続けるグアム 国内との競合や家族志向への対応にアイデアを投入

グアム政府観光局によると、グアムで海外挙式する日本人カップルは年間9500〜1万組。このウエディングマーケットをめぐる、ワタベウエディング、アールイズ・ウエディング、クチュール・ナオコ・ウエディング、ワールドブライダルなどのウエディング手配会社がしのぎを削る。こうした競争環境が、ウエディング需要の変化に合わせて次々と新機軸を生む原動力となっている。グアムのウエディング受け入れ体制の進化は、ウエディング・デスティネーションの中でも最先端。進化を続けるグアムのウエディングマーケットの最新事情とは。

定着する家族志向と、国内との競合

海外挙式を検討するカップルにとってのメインテーマは「家族や周りの人々への感謝を伝える」ことだ。海外ウエディングに関する各種統計調査でも、海外挙式を選んだ理由として「親孝行」や「家族旅行を兼ねて」などが上位に挙がるのが普通になっている。

同時に国内挙式との競合も目立つ。海外旅行が一般化するのに伴い、海外への憧れは海外挙式のモチベーションとしては力が低下。むしろ国内挙式のきめ細かさや行き届いたサービスが評価される時代だ。「最近では挙式場所を決める際に、ハワイとグアム、さらに東京を比較検討するケースも目立つ」(ワタベグアムCS室・運営企画グループ大田哲也マネージャー)。また、かつては海外デスティネーションが独占してきたリゾートウエディングも、沖縄の台頭で国内との競合が激化している。

海外挙式の新たな形「リゾ婚ハート」

リゾートで家族と、国内でみんなと。

リゾ婚ハート

家族志向と国内との競合という2つの傾向に対応しながら、海外挙式の新たな価値創造に取り組んでいるのがワタベウエディングの「リゾ婚ハート」だ。これはリゾートウエディングと、帰国後の国内でのお披露目を組み合わせた新しいウエディングスタイル。リゾートウエディングでは家族に対する思いを尽くし、国内お披露目では、友人などより多くの人々に対する感謝を表す。婚姻カップルの願いを最大限に実現するための提案。リゾートウエディングと国内披露パーティーの両方を組み合わせることで、結婚式の本質的な価値をより高めるのが「リゾ婚ハート」である。

ここで重要になるのは、リゾートウエディングでの家族旅行を通じて、親孝行ができ、家族への感謝をしっかりと伝え

ること。つまり家族全員でリゾートウエディングを楽しみ、幸せな時間を共有できることが大切となる。もちろん、この場合の「家族」とは、グアムへ同行する両親や親族だけでなく、列席してくれる親しい友人なども含まれる。また最近では一般的になってきている子連れ婚で同行する子供や赤ちゃんも含まれる。

「家族」全員と時間の共有ができる新サロン

こうした「家族」全員が新郎新婦と共に少しでも多く有意義な時間を過ごせるように設計されたのがワタベグアムの新サロンだ。サロンの開設場所を、ブランドショップが集まる高級ショッピングセンター「タモンサンズ」に、新たなコンセプトのサロンとして6月にオープンした。



新しいサロンは、打ち合わせに同行したい両親が参加できる十分なスペースを確保。また子供や赤ちゃんを同行している場合に使用できるキッズスペースも用意し、子供が喜ぶおもちゃ類を常備。赤ちゃんが泣いても周りに気兼ねなくいい子連れ専用ルームも2部屋用意している。

また滞在中の過ごし方や土産物ショッピングのアドバイスを受けたい家族、同行者もいる。新しいサロンではこうした両親などの要望にも応え、ウエディングでグアムを訪れる挙式カップルや両親、参列者をトータルでサポートしていくことができるようになった。



新サロンでは「マジカルリゾートウエディング」をコンセプトに、ウエディングを人生の「航海」に例え、船の舵やオール、船旅用のスーツケースなどをインテリアのポイントとして設置。

カップルの到着から、メイク、衣装、挙式会場へ向かうまでを、一つの導線で結び、一歩ずつ進んで行くイメージを取り入れている。

チャペルへ向かうリムジン車が待つのは、タモンサンズプラザの正面玄関。ここから旅立つ挙式カップルの姿が、グアムウエディングの代表的な光景の一つとして刻まれていくだろう。



ルックJTBはグアムでブライダルフェア

旅行会社もグアムのウエディングマーケットの変化に合わせて新しい動きを見せている。ルックJTBは、現地でのブライダルフェア開催という新しいアイデアに取り組み、グアム旅行を楽しみながら現地ブライダルフェアに参加してリゾートウエディングの下見もできる商品を作った。



「ルックJTB体感型ブライダルフェア in Guam」は、14年2月28日、3月7日、3月14日の計3回開催で、チャペル見学会や個別相談会、ウエディングセミナー、展示会、同行者ファッションショー、メイク&ヘアチェンジショー、抽選会で構成される。

チャペル見学会では、各開催日ともブルーアステールやセント・プロバス・ホーリーチャペルなど、グアムを代表するチャペル6つを見学。外観だけでなく、現地コーディネーターの案内で内部を見ることも可能だ。

チャペル見学会後の個別相談会では、より詳しく知りたいチャペルについて改めて説明を受けることができるほか、ウエディングセミナーでは、参加者のグアム挙式に関する不安や疑問を解消するた



め、現地コーディネーターがQ&A方式で参加者の質問に答える。

展示会では現地でしか見ることができないブーケを手にとって確かめることができるほか、ドレスやアルバムなども展示する。

同行者ファッションショーは、海外ウエディングに参列する際に何を着ていけばいいか迷う同行者の参考になるもので、家族や友人にお勧めの衣装をファッションショー形式で紹介する。またメイク&ヘアチェンジショーは、海外でのメイクに不安を持つ結婚予定者のためのイベントで、メイクの最終仕上がりやヘアスタイルをチェックできる。

JTBワールドバケーションズでは「海外挙式を検討している母娘などの参加を見込んでいる」(東日本販売本部ミクロネシア部企画チームの福岡淳子チームマネージャー)としており、ウエディングマーケットを軸においた、新たなビジネスの種といえそうだ。



韓国、香港、台湾など、東アジア市場が台頭

一方、最近の傾向として、韓国、香港、台湾といった東アジアからの需要が急速に拡大しており、ワタベグアムでは「取扱人数全体の約1割を占める」(大田マネージャー)とのこと。「アジアのウエディング需要は写真撮影を非常に重視する点で日本とは異なる挙式文化がある」ことから、日本流だけでは必ずしも彼らを満足させることはできない。しかし日本流のきめ細やかで行き届いたサービスへの評価は高い。

グアム政府観光局の統計によれば、昨年のグアム来島者数(航空機利用)は、129万8401人。このうち韓国が18万2629人、台湾が4万9144人、中国が8939人でこの3カ国で24万712人となり、来島者全体の18.5%を占めている。この数字を見る限り、東アジアからのウエディング需要も、伸びず余地がまだまだ大きいと言えそうだ。



「リゾート婚ハート」を追求しサロンを一新 サンビトレスでもガーデンパーティーを実現

リゾートウエディングのトップ・デスティネーションの一つであるグアム。ワタベウェディングが提案する結婚式の新しいカタチ「リゾート婚ハート」に最も適した場所でもある。ワタベウェディングでは新しいサロンもオープン。「リゾート婚ハート」を実現するための環境は一段と充実した。

新サロンが6月にオープン

ワタベウェディングが提案する「リゾート婚ハート」は、ゆっくりと家族への感謝を伝えるリゾートウエディングと、帰国後により多くの人たちにお披露目する国内パーティーを組み合わせた新しい結婚式のスタイル。

ワタベウェディングでは、この家族を軸に考えた挙式カップルの思いを最大限に実現するため、今年6月に「タモンサンズ」内に新サロンをオープンした。

これまでのリゾートウエディングでは、下見や打ち合わせに気軽に同行できる国内挙式と異なり、挙式本番まで両親が関わる時間が少なかった。しかし、新サロンでは、新郎新婦との挙式の最終打ち合わせの場所としての機能に加えて、家族も同席できる十分な打ち合わせスペースを確保。両親も挙式だけでなく、挙式前日(または当日)の打ち合わせからリゾートウエディングに関われるようになった。

また、子供を同行している場合に使用できるキッズスペースや、赤ちゃんが泣いても周りに気兼ねなくいい子連れ専用ルームも完備した。



新サロンのコンセプトは「マジカルリゾートウエディング」。新婦が到着してから、メイクを施し、衣装を整え、挙式会場へ向かうまでをストーリーとして捉え、「航海に旅立つ」イメージを内装に取り入れた。インテリアとして船の舵やオール、船旅用のスーツケースなどが置かれ、船出の雰囲気を醸し出す一方、ブルメリアなどをあしらったグアムらしさも演出している。

ブルーアステール グアムで最も海に近い式場

ワタベウェディングのチャペルはグアムに3つある。

ブルーアステールは、美しいタモン湾が目の前に広がるオン・ザ・ビーチの挙式専用施設で、グアムで最も海に近い挙



式施設でもある。挙式、ビーチでの写真撮影、挙式後のパーティーという一連の流れを、すべてブルーアステールの敷地内で行うことができ、ビーチを望む絶景をバックに、セレモニーがトータルコーディネートされる。

セレモニーのハイライトである、花嫁の入場に使用される12mバージンロードは、祭壇に向かってステージを上がるような形状にデザインされており、より空に近い場所で2人の誓いを立てられる空間演出となっている。

パーティー会場も併設しており、オーシャンフロントのバンケットでは、専任スタッフがアテンド。プライベート感とリゾート感があふれるパーティーを実現できる。

セント・プロバス・ホーリー・チャペル 挙式後のプライベートガーデンが好評

恋人岬を望む絶好のロケーションにあるセント・プロバス・ホーリー・チャペル。ナチュラルで上品な雰囲気で満たされているチャペルの内部は、グリーンと白をベースとした装花で飾られ、1万本のバラを敷き詰めたガラスのバージンロードが花嫁を出迎える。そして祭壇はラッテストーン遺跡を模したデザインを採用し、グアムらしさも表現している。

専用パーティー会場「Te quiero (テ・

キエロ)」では、敷地内のビーチフロントに、グアム唯一のプライベートガーデン「Family Tree Garden (ファミリー・ツリー・ガーデン)」が昨年オープン。挙式後にガーデン内の写真スポットで、家族や参列者と共に記念撮影を楽しみ、緑に包まれたくつろいだ雰囲気の中で、一緒に時間を過ごせるように工夫されている。

サンビトレス・ベイサイド・チャペル 来年からガーデンパーティーを用意

ホテル・ニッコー・グアムの敷地内にあるサンビトレス・ベイサイド・チャペルでは、来年1月からガーデンパーティーを挙式プランに組み込む予定だ。用意されるのは海見えるガーデンスペースでのカジュアルなパーティー。



ここ最近のガーデンパーティーの需要に応え、サンビトレス・ベイサイド・チャペルでも、それが実現できることになる。なお、現在と同様に挙式後にホテル・ニッコー・グアムの高級中華レストラン「桃李」等で食事を楽しむパターンも引き続き選択できるようにする方針だ。

サンビトレス・ベイサイド・チャペルは、ホテル・ニッコー・グアムに宿泊すれば、移動も簡単で子供連れでも安心。しかも価格も手ごろな挙式会場として知られる。ガーデンパーティーの選択肢が増えることで、さらに注目度のアップが期待される。

ST. PROBUS HOLY CHAPEL TROPICAL GARDEN & BEACH RESORT WEDDING

鮮やかな花と緑に囲まれた海をのぞむ
セント・プロバス・ホーリー・チャペル
祭壇に刻まれた文字は
「Two Lives Get Together」～ふたりの人生のはじまり～
その意味を込めたセレモニーで夫婦の絆が生まれます。

FAMILY TREE GARDEN

ビーチが目の前にあるプライベートガーデンが誕生
挙式後はファミリーツリーガーデンでのひととき
おふたりの大切な思いを伝える
ウェディングが叶います。



その日は、消えない。

WATABE WEDDING

0120-41-2141
http://www.watabe-wedding.co.jp



プレジャーアイランド内の大型デラックスリゾートホテル 宿泊客に最高の滞在を提供

グアム最大の観光スポットであり、ショッピングとエンターテインメントの中心、プレジャーアイランド内に建つ「アウトリガー・グアム・リゾート」。600室全てがオーシャンビューで、滞在中のホテルライフをより満足なものにさせてくれるレストラン&バー、さらに付帯施設も最高レベル。昨年スタートした「アウトリガー ビーチサイド バーベキュー ディナー」も好評で、あらゆるマーケットから根強い人気を誇っている。



プレジャーアイランドの中心 唯一の大型デラックスリゾートホテル

グアムの観光の拠点、プレジャーアイランド内にある「アウトリガー・グアム・リゾート」。グアムのホテルの中でも最高といえる立地条件の良さを誇る。ホテルのロビーからは、ショッピングモールの「ザ・プラザ」、アンダーウォーターワールドがあるエンターテインメントセンター、世界的に有名なレストラン「ハードロックカフェ」、シーフード料理が評判の「シーグリル」など、さまざまなレストランと直結。さらに通りを挟んだ向かい側には、「DFSギャラリー」や徒歩圏内にはエンターテインメント施設「サンドキャッスル」もあり、人気のショッピン



グ、ダイニング、エンターテインメントが集結している。

全600室のオーシャンビュー ワンランク上の滞在には「ボエジャーズ・クラブ」

「アウトリガー・グアム・リゾート」は、600室全ての客室がオーシャンビュー。どの部屋からも美しいタモン湾が一望できる。

客室は洗練されたアジアンテイストとグアムらしい温かみのあるパシフィック・スタイルを融合したデザインで、液晶フラットテレビや無料のWiFi環境、プライベートバルコニーを完備する。

また全てのダブルルームは、クイーンサイズのベッド2台の設置となり、日本人旅行者にとって使い勝手のよい仕様だ。各客室にはヘッドライヤーやセーフティボックス、冷蔵庫があり、コーヒーや紅茶も自由に楽しめる。



ワンランク上の滞在には、20階と21階にあるクラブフロア「ボエジャーズ・クラブ」がおすすめ。よりシックなインテリアが特徴で、最上級の寝心地を追求した純白の羽毛布団、バスローブやスリッパなど、高品質なアメニティーにもこだわりを見せる。また専用ラウンジ「ボエジャーズ・クラブラウンジ」を利用でき、コンチネンタルブレックファーストの他、17～19時には、ビールやカクテルなどのドリンクと軽食を無料でサービスする。またラウンジ内の新聞や雑誌が閲覧できるほか、コンピューターやプリンターなども利用することもできる。

「ボエジャーズ・クラブ」は、レセプション・パーティー会場として20～50名までの貸し切りも可能。ホテル最上階となる21階にあり、タモン湾を望む最高の景色が楽しめ、近親者だけの小規模なパーティー、ウェディングへの同行列席者を招いた披露パーティーなど、幅広く対応できる。

各種グループに対応できる会議・宴会施設

「アウトリガー・グアム・リゾート」のボールルームは最大で516㎡まで確保でき、シアタースタイルで540名、バンケットスタイルで310名の収容が可能。また「フォート・サンノゼ」(297㎡)、「フォート・ソレッダ」(104㎡)、「フォート・サント・エンジェル」(76㎡)、「フォート・アポットガン」(39㎡)と各部屋に分割して



中・小グループ用にも使用することもできる。さらに、シアタースタイルで106名収容の「サン・ラファエル」と同70名収容の「サンタ・クルーズ」の2つの施設もある。

ホテルの中二階にあるボールルームと会議・宴会施設からは、タモン湾の美しい眺望が楽しめ、グアムならではの環境と雰囲気を提供できるのが特徴だ。

また屋外施設の「タシ・テラス」は、プールやメインロビーに隣接し、最大収容人数が870名（レセプション・スタイル）と、大型団体のカクテルパーティーなどにも対応できる。目の前にタモン湾が広がるオーシャンサイドの「カントン・タシ」は、グアムならではの海を眺めながらのパーティーを演出でき、「アウトリガー ビーチサイド バーベキュー ディナー」は、ここが会場となる。

大好評の 「アウトリガー ビーチサイド バーベキュー ディナー」

アメリカンスタイルのセルフグリル式のバーベキュー・ディナー「アウトリガー ビーチサイド バーベキュー ディナー」。目の前にタモン湾が広がるリラックスした雰囲気の中、海を眺めながら食材を好きなタイミングでグリルして自分のペースで楽しめる。とあって、昨年のスタート以来大好評だ。メニューは4種類。豪華な“活けロブスター”が含まれたスペシャルディナー「活けロブスター ビーチサイドバーベキュー・ディナー」をはじめ



め、ボリュームたっぷりの「デラックス ビーチサイドバーベキュー ディナー」、また、ビーフ リブアイ、キングクラブレック、魚、海老、チキン、イカ、各種野菜など、スタンダードメニューの「ビーチサイドバーベキュー ディナー」に加え、「ネニ」ビーチサイドバーベキュー ディナー」は、6歳～11歳の子供が対象のメニュー。ファミリーでも気軽にバーベキュー・ディナーを楽しめる。また各メニューに共通する内容として、前菜とライスが付くほか、サラダとデザートはbuffet形式で食べ放題。さらにアイスティーと生ビールは飲み放題となっている。



多彩なレストランが提供する充実の味

「アウトリガー・グアム・リゾート」はレストランのバリエーションも豊か。メインレストラン「パーム・カフェ」は、朝6時30分から夜10時まで毎日営業しており、東洋と西洋の味わいが融合したアジア各国料理をベースとしたフュージョンスタイルのコンテンポラリー・アジア・キューズを楽しめる。



ディナータイムには、地中海料理、アジア料理、イタリアン、チャモロ料理、東南アジア料理、シーフード、プライムリブ&キングクラブなど、毎日多彩なテーマのビュッフェを用意。また毎週日曜には、シャンペンの飲み放題が付いた「シャンペン・サンダー・ランチビュッ

フェ」を提供する。

さらにこのほど、鉄板焼きカウンターを設置。寿司バーなど、和食のラインナップがさらに充実し、和食のランチ・ビュッフェは、特に人気が高く好評だ。

またロビーフロアの「バンブー・バー」では、夕方からライブミュージックが演奏され、トロピカルな雰囲気に包まれながら、カクテルなどを片手に音楽を楽しめるとあって地元からの人気も高い。



充実した付帯施設 キッズクラブやマンダラ・スパも

「アウトリガー・グアム・リゾート」は、充実した付帯施設もホテルの自慢のひとつ。ファミリー向けには、20mのウォータースライダーが付いたメインプールやスプラッシュプール、子供用プールの3種類のプールが大人気。また、ココキッズクラブは、グアムの文化が学べる5～12歳の子供を対象としたプログラム。アンダーウォーターワールドの見学や、砂で城を作るサンドキャッスルビルディング体験、チャモロダンス体験、カルチュアルダンスなど、豊富なプログラムを用意。またランチとおやつが付いており、半日、1日のプログラムから選べる宿泊者限定のプログラムだ。

ホテル前のビーチにある「オハナ・ビーチ・クラブ」は、美しいタモン湾に面した開放的なアウトドア・ダイニング。ハンバーガーやサンドウィッチ、サラダなどの軽食や、トロピカルドリンクなど各種飲み物を提供。また隣には、小さな広場もあり、小さな子供連れの家族でも、



安心して楽しむことができる。

ホテル内には、世界最大級のスパチェーン「マンダラ・スパ」もあり、トリプルのトリートメントルームをはじめ、ヘアやネイルのサービスも受けられ、その充実度でグアムでも絶大な人気を誇る。この他、ビューティーサロンやスパバティック、フィットネスセンターも併設している。





I discovered an island™

ハファディ!

アウトリガー・グアム・リゾートは、グアムの中心地で人気エリアのプレジャーアイランド内にございます。プレジャーアイランド内には、家族で遊べる数々の施設があり、またビーチでは、南国の太陽を浴びながら、カヤックやシュノーケリングなどもお楽しみいただけます。お子様には、ご両親から離れて参加するココキッズクラブをご用意しております。

さらにホテルのロビー階には、パームカフェ、ハードロックカフェなどの人気レストランがあり、アンダーウォーターワールド(シーグリルレストラン併設)などのアクティビティ施設や、世界のブランドを集めた、ザ・プラザ及びD F S ギャラリーのショッピングスポットへも徒歩でアクセスできます。



アウトリガー・グアム・リゾート(プレジャーアイランド内)

日本予約センター 03-5733-2090 代理店営業 03-5456-7688

Eメール japan.reservations@outrigger.com

ホームページ jp.outriggerguam.com



OUTRIGGER®
GUAM RESORT

THAILAND・BALI・FIJI・HAWAII・GUAM・AUSTRALIA

www.outriggerguam.com

グアム政府観光局日本事務所メンバーからのメッセージ

東京事務所

光森 裕二 (ミツモリ ユウジ)
日本代表



担当
グアム観光促進につながる全ての活動の統括及び実施

来島者数100万人を目指して、期待される観光局の継続、積極的なセールス活動の実施及び一般消費者へのPRの継続をさらに強化します。

久道 叔子 (ヒサミチ ヨシコ)
セールス&マーケティング アシスタント



担当
主に弊局へお越し下さるお客様やお電話にてお問い合わせ下さるお客様の対応

お客様との会話の中から教えて頂く事も多く勉強になります。これからも簡潔にグアムの良さを御説明出来るよう努めたいと思っております。

北川 淳子 (キタガワ ジュンコ)
マーケティング&広報担当



担当
広報、国内外のメディアとのコミュニケーション、JATA旅博、マリンダイビングフェアなどの展示会アレンジ等

平素よりグアムへのご送客ならびにメディアでの露出展開を実施して下さり、ありがとうございます。近年ではSNSなどを通し、一般の方々のグアムへの興味と知識レベルがかなり高いものとなってきております。今後もよりいっそう「近い・楽しい・癒される」グアムの旬の情報をお届けできるように頑張ります。

大阪事務所

長澤 愛 (ナガサワ アイ)
西日本セールス&マーケティング



担当
関西・広島・九州・沖縄地区におけるグアムへの観光プロモーション

私が在職している期間だけでも、本当に様々な事がありましたが、変わらず運航して頂いた航空会社さま、そしてご送客頂いた旅行会社さまに、改めて深く感謝申し上げます。今後は少しでも皆様にお返しが出来ます様、尽力して参りますので、引き続きどうぞご指導、ご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

野川 恵子 (ノガワ ケイコ)
エグゼクティブ セクレタリー



担当
経理業務/アドミ業務/JGTC関係/日本代表補佐

東京オフィスで経理・アドミ中心の仕事をしておりますので、業界の皆さまと接する機会はありませんが、グアム観光促進のために、皆さまとより一層の円滑な関係を築きたいと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

竹内 聖乃 (タケウチ マサノ)
東日本地区 セールス&マーケティング担当



担当
一般消費者向けイベント・プロモーション/エージェン様向けセミナー/エージェン様からのご相談対応/教育旅行説明会/一般消費者の方からの電話対応 等

一般消費者の方々、エージェン様の皆様の中で一人でも多くのグアムファンを増やし、多くの方にご来島頂けるよう努めて参りたいと思ひますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

秦 香織 (ハタ カオリ)
ウェブ マーケティング コーディネーター



担当
グアム政府観光局ウェブサイトの更新・管理

グアムへご旅行されるお客様がより滞在を楽しんで頂けるよう、お客様からの声・よくある問合せ内容などを元に、日々コンテンツ作成を行っております。今後、更なる渡航者数増加に向けてグアムの魅力を訴求できるよう、サイト内容を改良させて頂き参ります。

向井 郷恵 (ムカイ サトエ)
西日本地区 セールス&マーケティングアシスタント



担当
大阪セールスオフィスにて、北陸エリア/岡山発マーケットの営業、オフィス内総務、資料請求、旅行会社様からの対応

皆様にグアムの魅力を感じていただけるようなご案内ができるように努めていきたいと思ひております。今後ともよろしくお願いいたします。

グアム最新情報

Hot News

グアムココハーフマラソン&駅伝リレー 10月20日に開催、第2期申し込み受付中

締切は
9月24日(火)!

今年で8回目を迎えるグアム政府観光局主催の「グアムココハーフマラソン&駅伝リレー」が2013年10月20日(日)に開催される。同大会は、国際陸上競技連盟(IAAF)公認の21.0975kmのハーフマラソンと、4人でチームを組んで約20kmを走る駅伝を同時に開催するユニークなレース。年々参加者が増えており、昨年は過去最多となる1,820名が申し込み、日本からも606人のランナーが参加した。ハーフマラソンはグアムの美しい海岸線を走るコース設定で、海外レースの雰囲気を十分に満喫できる。また駅伝は仲間同士で応援しやすいコース設定に変更した。なお、同大会のエントリー料金の一部は、

「Ko'ko' Bird(ココバード。別名グアムクイナ)」の保護活動に使用される。
開催概要
■日時：10月20日(日) 午前5時スタート
■場所：ガバナージョセフ フローレスメモリアルパーク(イパオビーチパーク)
■参加申込期間(第2期)：8月1日(木)～9月24日(火)
■お問い合わせ：グアム ココハーフマラソン&駅伝リレー日本事務局
TEL: 042-540-1529
E-mail: japan@guamkoko.com
[受付時間]月～金：10～18時(祝日除く) 11月29日(金)まで



ウェブサイト <http://www.visitguam.jp/koko/2013/>

第2回グアムインターナショナルマラソン 2014年4月13日(日)開催決定!

ゲストランナーに
AKB48グループの
マラソンチームが参加

第2回グアムインターナショナルマラソンの開催が2014年4月13日(日)に決定した。同マラソンは、国際陸上競技連盟公認(IAAF)公認の本格的なレースで、フルマラソン、ハーフマラソン、10kmラン、5kmランと豊富なレースカテゴリーが魅力。比較的フラットなコースで、コース途中の多くのポイントは、海沿いの道を走るオーシャンビューのコースになっており、沿道では地元のボランティアが笑顔と応援で大会を盛り上げてくれる。またゲストランナーとしてAKB48グループのマラソンチームが参加することが決定。メンバーは、DeNA Running Club 総監督の瀬古利彦氏にマラソンの基礎から指導を受け、大会には個々のレベルにあったレースカテゴリーに挑戦する。なお、2014年オフィシャルサイトは7月23日(火)よりオープンしており、既に8

月6日(火)より個人のエントリー受付を開催している。ちなみに第1回大会(2013年4月7日)は、約2,200人(うち日本人860人)が参加。10の国や地域(アメリカ、グアム、日本、韓国、台湾、香港、オーストラリア、エチオピア、フィリピン、パラオ)のランナーがエントリーした。
開催概要
■開催日：2014年4月13日(日)
■主催：グアムインターナショナルマラソン実行委員会
■後援：グアム政府観光局
■協賛：ユナイテッド航空
パシフィックアイランドクラブグアム
■お問い合わせ：日本事務局
Tel: 03-6891-9353 Fax: 03-6891-9408
E-mail: info@guaminternationalmarathon.jp
[受付時間] 平日10～17時(土日祝休)



ウェブサイト <http://www.guaminternationalmarathon.jp>

グアムから広がる交流の輪！ 新潟、千葉、佐賀で交流活動

新潟県柏崎市と「恋人岬」姉妹提携10周年

旅行需要を盛り上げる上でも重要な交流活動。まずグアムの恋人岬と新潟県柏崎市の米山福浦八景県立自然公園内にある恋人岬が、姉妹提携10周年を迎えるにあたり、グアムからエディ・バザ・カルボ米国グアム準州知事、グアム政府観光局のカール・パンゲリナン局長、ミス・グアムらが7月26日から2日間、新潟県柏崎市を訪れた。



今年は、ユナイテッド航空の新潟⇄グアム直行便就航も15周年を迎えるなど、グアムと新潟県の友好の節目の年。恋人岬の姉妹提携の他にも、災害支援、観光、文化、スポーツなど様々な分野において相互交流と友好親善を深めてきた。

千葉県柏市と友好都市22周年

またグアム政府観光局は、7月27～28日に千葉県柏市で開催された「第36回 2013 柏まつり」に親善使節団を送り、柏市民や来場者の方々と交流を深めた。今年でグアムと柏市が友好都市となって22周年。使節団には、観光局のネイサン・デナイト

副局長、ミス・アース・グアムのサラ・エリザベス・フィラッシュ氏らが参加。また初日に開催された「柏おどりコンテスト」には、ミス・アース・グアムがNPO法人 柏市国際交流協会チームの一員として参加し、同チームは「柏ユネスコ協会賞」を受賞。また創作踊りを披露した「日々感動」チームには、グアム友好賞が授与された。



佐賀県唐津市と友好交流意向書に調印

さらに佐賀県唐津市とグアム政府は、2013年7月24日に友好交流意向書の調印を行い、新たな友好交流関係を構築することに合意。グアム準州エディ・バザ・カルボ知事、グアム政府観光局カール・パンゲリナン局長らが来日し、佐賀県庁に表敬訪問後、坂井俊之唐津市長と共に調印式に臨んだ。グアムと唐津市との交流は、2012年に唐津市からグアムへ石材が輸出されたことがきっかけ。グアム政府は今回の提携を機に、経済の交流をはじめ、人的・文化交流にも発展させていきたいとしている。



オンワードビーチリゾートにタイ式スパOPEN!

オンワードビーチリゾートのウィング棟の最上階に、今年6月新しくスパがオープンした。客室を改装したもので、眼下に広がる美しいグアムの海を眺めながらトリートメントが受けられるのが特徴。内装やオイルなど、すべてタイから輸入し、トリートメントには、タイ古式マッサージやオイルマッサージ、ハーブ

ボールやホットストーンを利用したものなど、リラクゼーション効果の高いメニューを用意。オイルには、地元グアムのナチュラルプロダクトを使用するなど、こだわりをみせる。家族旅行でお母さんのリラクゼーションに、また女子旅はもちろん、カップルでの利用もおすすめだ。



ユナイテッド航空

UNITED

全国9都市とグアムを結ぶ 充実のネットワーク



全国9都市(札幌、仙台、新潟、東京／成田、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡)とグアムを結ぶユナイテッド航空。その充実のネットワークは、日本⇄グアム間で最大のシェアを誇る。また、グアム線の全フライトにビジネスクラスを設定するなど、質の高いサービスを提供。全国9都市と同社のハブ空港でもあるグアムを結ぶネットワークを活かした「現地集合、現地解散」ができる点や豊富な座席供給で大型団体にも対応、幅広いニーズに応える。

長年グアムの観光需要を支えてきた実績 「グアムハブ」だからできる柔軟な機材運用

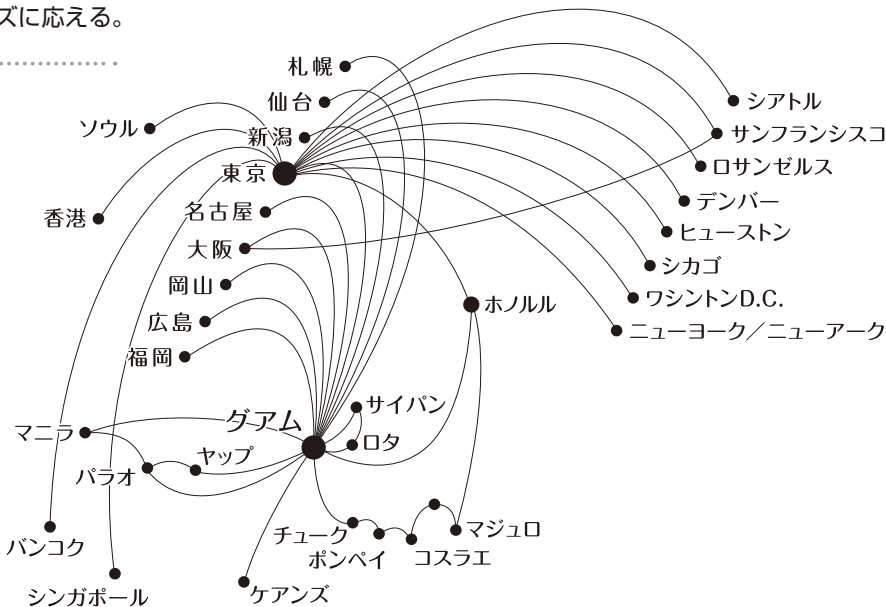
北海道から九州まで、日本全国をカバーするユナイテッド航空のグアムネットワーク。同社は旧コンチネンタル航空の時代から長年にわたり、グアムへの観光需要を支えてきた。今年は4月に名古屋(中部)⇄グアム線が就航30周年、7月に新潟⇄グアム線と岡山⇄グアム線が就航15周年を迎え、日本の各地域で、地元就航するホームタウンエアラインとして、「身近な海外リゾート地」としてのグアムをアピールし続けてきた。

グアムは成田と同様、同社にとって世界に10ヶ所あるハブ空港のひとつ。そのため、インセンティブや修学旅行など、大型団体に対応した大型機材の投入、またチャーター便や臨時便の設定など、需要動向に合わせた柔軟な機材運用が可能だ。特に日本⇄グアム間は、ほぼ100%が日本発の需要。日本側のニーズに対応しやすい、という強みもある。

スケジュールも各マーケットの需要に対応する。例えば1日3便の成田⇄グアム線は、夏休みなどのオンシーズンには1日4便へ増強。札幌(新千歳)⇄グアム線も多客期の冬季に増便を行う。また週2便の新潟⇄グアム線は、スターアライアンスパートナーのANAのフライトを利用し、新潟空港から毎日出発(往路は成田、もしくは名古屋(中部)経由、復路は成田経由)のスケジュール態勢も整えており、利便性の高いアクセスを提供している。

さらにユナイテッド航空は、日本⇄グアム間だけでなく、ハブ空港の成田を拠点に、幅広いネットワークを展開する。今年6月からは成田⇄デンバー線を新たに開設し、日米の航空会社で最多となる米本土8都市(シアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、デンバー、シカゴ、ヒューストン、ニューヨーク、ワシントンDC)へ毎日ノンストップ便を運航する。さらにハワイ(ホノルル)、アジア4都市(ソウル、香港、バンコク、シンガポール)へも毎日フライトが飛ぶ。

さらにユナイテッド航空は、日本⇄グアム間だけでなく、ハブ空港の成田を拠点に、幅広いネットワークを展開する。今年6月からは成田⇄デンバー線を新たに開設し、日米の航空会社で最多となる米本土8都市(シアトル、サンフランシスコ、ロサンゼルス、デンバー、シカゴ、ヒューストン、ニューヨーク、ワシントンDC)へ毎日ノンストップ便を運航する。さらにハワイ(ホノルル)、アジア4都市(ソウル、香港、バンコク、シンガポール)へも毎日フライトが飛ぶ。



大型団体にも対応 豊富な座席供給で座席確保に配慮

ユナイテッド航空は、成田⇄グアム線に348席のボーイング777-200型機を1日2便投入するなど、豊富な座席供給を提供しており、大型の団体需要にも柔軟に対応できる態勢を整える。特に「グアムは団体用の座席が取りにくい」というイメージを払拭すべく、早い段階での運賃案内や座席確保などの対応に努めている。

堅調に推移するグアムへの団体需要。団体のサイズも10～20名程度の小グループから、多いものでは1000人単位までとバラエティーが豊か。現地での受け入れ態勢も進んでおり、来年の大型コンベンション施設オープンを控え、ますます需要は高まるだろう。

全国から「現地集合／解散」 ウエディングにも強み

団体旅行におけるユナイテッド航空利用の強みは、グアムで「現地集合／解散」



成田⇄グアム線には大型機(ボーイング777-200型機)も投入し、団体需要にも柔軟に対応

できる」点。全国9都市からグアムへフライトが飛び、ほぼ同時時間帯に到着、帰国時もグアムからフライトがほぼ同時刻に日本へ向け出発するので、各都市からグアムへ飛び、現地で集合、または解散ができる。特に全国規模のインセンティブや社員旅行、さらに全国から親戚や親類を現地挙式に呼べるので、ウエディングにもぴったりだ。



主に日本⇄グアム間を結ぶボーイング737-800型機

ビジネスクラスを全路線で提供 手頃な追加料金で「ワンランク上の旅」

ユナイテッド航空は、レジャー路線である日本⇄グアム間においても全便でビジネスクラス「ユナイテッド・ビジネス」を提供している。搭乗から到着まで、ワンランク上のサービスで快適な空の旅を楽しめるのがビジネスクラスの醍醐味。パッケージツアー利用であれば、時期により異なるが約3～4万円程度の手頃な追加料金で、往復とも気軽に上質のサービスを体験できる。

空港では、専用カウンターでのチェックインや優先搭乗など、「プレミアアクセス」を提供。グアム国際空港では、セキュリティチェックの優先レーンも用意する。また出発前は、空港ラウンジ「ユナイテッドクラブ」の利用ができるほか、機内ではゆったりとした快適なシートで、搭乗直後のウェルカムドリンクサー



グアム路線の「ユナイテッド・ビジネス」座席(ボーイング777-200型機)

ビス、そしてコース料理の機内食など、至れり尽くせりのサービスを提供。アルコール飲料はもちろんすべて無料だ。さらに到着後は、優先して降機できる上、預け入れ手荷物もいち早く受け取ることができる。

「ユナイテッド・ビジネス」なら、ハネムーンなどの特別な旅行、インセンティブ旅行でのVIP利用、熟年層など、大切な旅行やゆったり旅をしたい人に最適。旅のアクセントとしても是非おすすめしたいプロダクトだ。



「ユナイテッド・ビジネス」機内食(イメージ)

グアム路線にも順次導入 ユナイテッド・エコノミープラス

通常のエコノミークラスと比べ、足元のスペースを最大約12cm上げ、ワンランク上の快適性を提供する「ユナイテッド・エコノミープラス」。エコノミークラス前方にシートを配置しているので、空港到着後、すぐに飛行機から降りることができるのも大きなメリットだ。すでに成田⇄グアム路線のボーイング777-200型機で同サービスを開始しているが、現在、日本⇄グアム間を運航するボーイング737-800型機やボーイング737-700型機への搭載も順次進めている。ウェブサイトまたはチェックイン時に追加料金にて利用できるが、ユナイテッド航空のマイレージプログラム「マイレージプラス」のプレミアム会員であれば、無料にて座席指定が可能だ(空席がある場合)。



エコノミークラスでもビールとワイン、日本酒を無料で楽しめる(イメージ)

ツアーでも100%のマイル加算

マイレージプラス

ユナイテッド航空のマイレージプログラム「マイレージプラス」は、その使いやすさが最大の魅力。同社だけでなく、ANAをはじめとするスターアライアンス加盟28社のフライトでも、マイルの加算や特典航空券が利用できる。特典航空券は、わずか6000マイルでANA国内線片道(一部区間除く)の特典航空券との交換が可能。日本⇄グアム間を2往復す

MileagePlus
UNITED

るだけで、特典航空券を獲得できる。また割引航空券やパッケージツアーでも100%のマイルが貯まる。さらに18ヶ月以内に、フライト利用だけでなく、提携クレジットカード利用など、何らかのマイルの加算／利用があれば、マイルの有効期限がそのたびに延長されるので、実質無期限で安心してマイルを貯めることができるのが強みだ。

南の島のユナイテッド。

グアムへ、パラオへ、ハワイへ。そして、
地球規模のエアラインが
世界のリゾートへお連れします。

アイランドリゾートへはユナイテッドで。最も近い楽園グアムへ日本9都市
(札幌・仙台・新潟・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡)から就航。
グアムからはサイパン、パラオ、ケアンズ、ミクロネシアの島々へ。
東京からホノルルへ。最寄りの空港からリゾートへお気軽にお出かけください。
そして、6大陸370以上の都市を結ぶ地球規模のネットワークで、
世界各地のリゾートへあなたをお連れします。
私たちは、レジャーの翼を広げます。あなたは、ゆっくり羽を伸ばしてください。

UNITED



A STAR ALLIANCE MEMBER

